



# リコーグループの環境経営

【循環型社会の構築をめざして】

自主的・先行的・同軸的展開

株式会社 リコー  
販事本 統括環境管理責任者  
参与 成田輝夫

# 本日の発表内容



1. リコーグループ環境経営の考え方
2. 環境経営システムと実践事例
3. まとめ

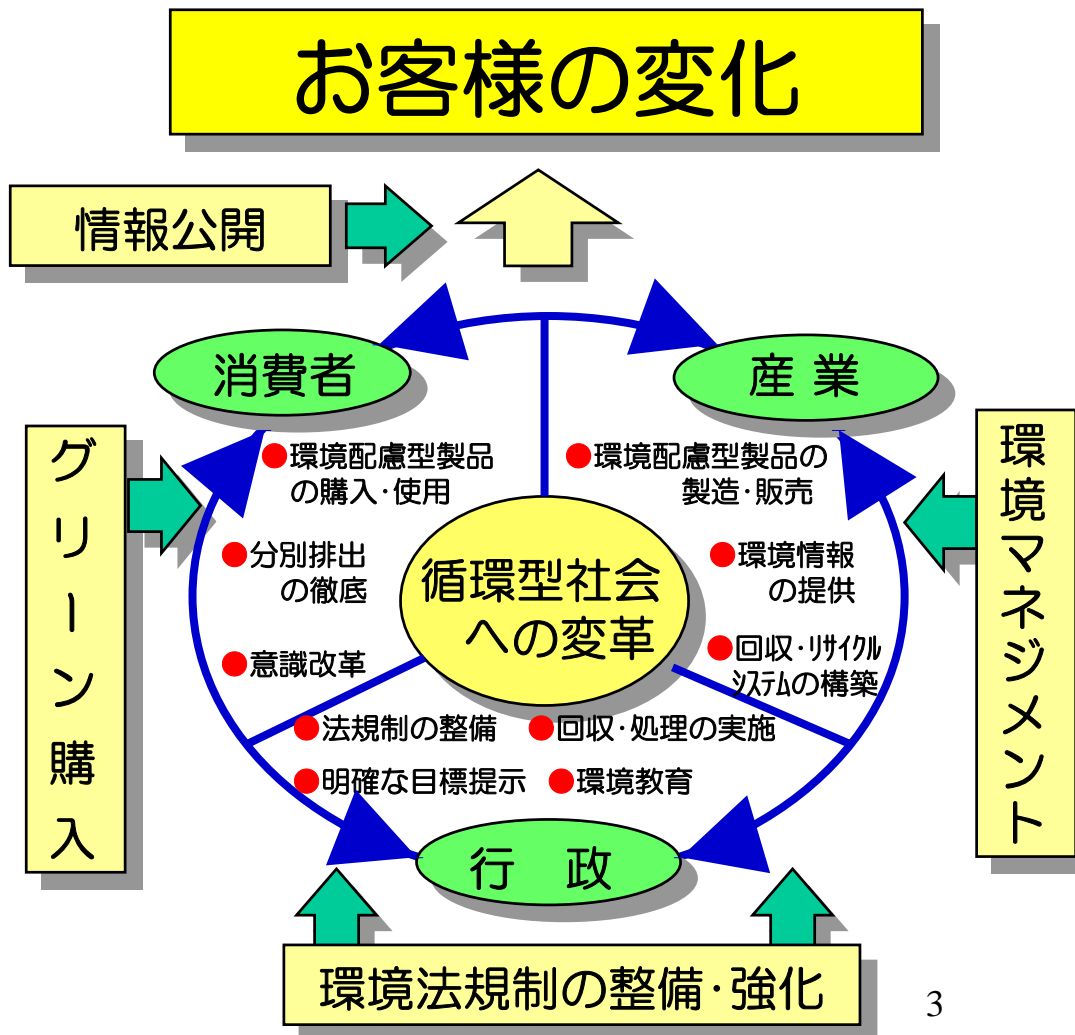
# 基本的な考え方



# 今なぜ「環境経営」なのか

## 背景

- **地球環境は悪化**している
  - 温暖化・廃棄物問題、環境ホルモンなど
  - トリレンマの問題  
(経済発展、資源・食料確保、環境維持)
- これまでの  
大量生産・大量消費・大量廃棄
- これからは  
**循環型社会**への転換が必要



# 循環型社会の構築をめざして

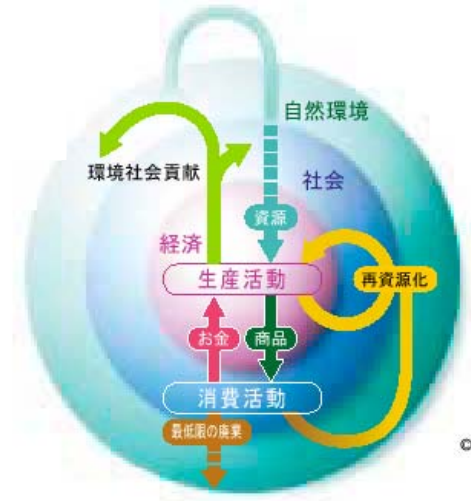
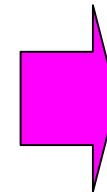
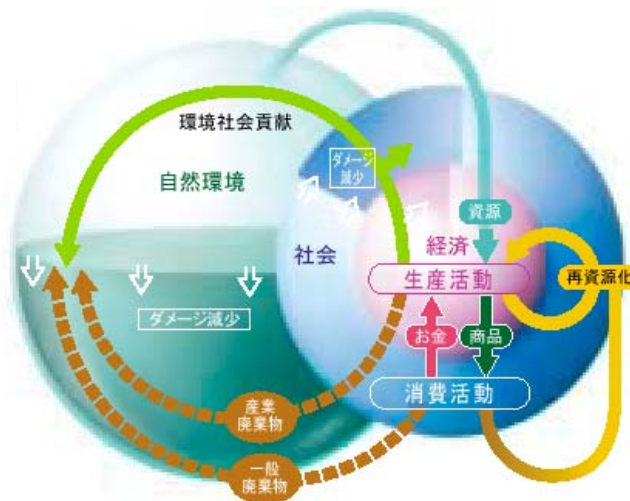
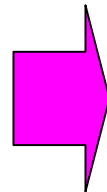
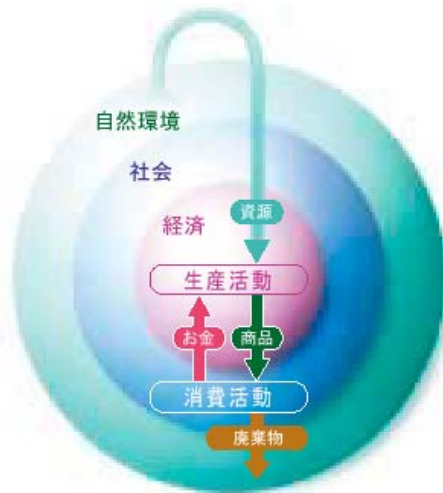


## Three P's Balance (Planet / People / Profit)

自然・社会・経済のバランスが保たれた姿

社会・経済活動でバランスが崩れた姿

循環型社会により崩れたバランスを回復した姿



©2002 RICOH

自然環境が許容できる範囲で社会・経済活動が行われ、地球自然環境が常に守られている。

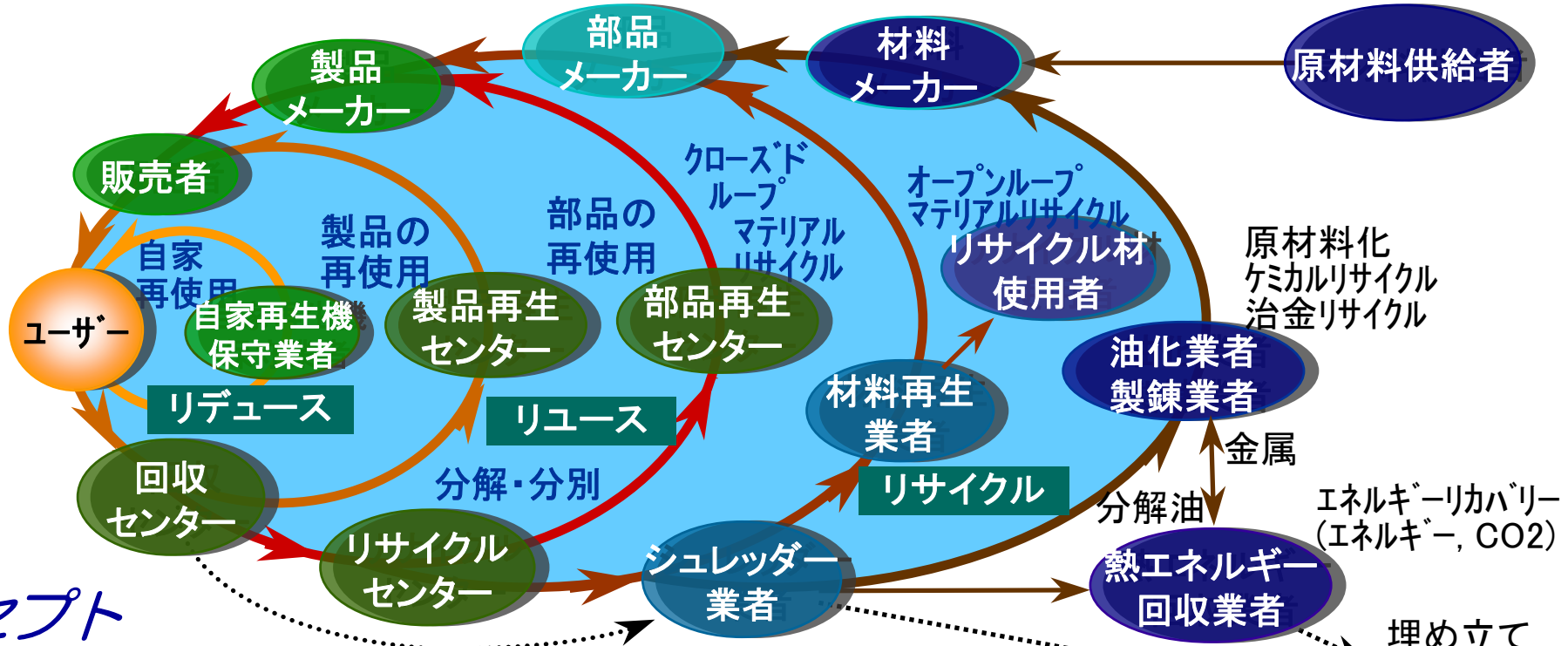
大量生産・大量消費・大量廃棄のライフスタイルは地球環境が許容できる環境負荷を超えてしまった。

循環型社会を構築し、環境負荷を削減することにより、自然・社会・経済活動のバランスのとれた豊かな社会を目指す。

# 循環型社会実現のための概念



リコーの循環型社会のコンセプト→コメットサークル-TM-



## コンセプト

- (1) 全ステージでの環境負荷の把握と削減
- (2) 内側ループのリサイクル優先
- (3) 重層的リサイクル
- (4) 経済合理性の確保による自律的循環の保証
- (5) 全てのステージとのパートナーシップ・情報の共有

© 1994 RICOH Co., Ltd.

# 創業の精神



## —三愛精神—

人を愛し

国を愛し

勤めを愛す

# リコーグループの「環境綱領」



## 〔基本方針〕

私たちは、経営理念に基づき、環境保全は我々**地球市民に課せられた使命**と認識し、これを事業活動の重要な柱の一つと捉え、自ら責任を持ち、全社をあげて取り組む。

## 〔行動指針〕

1. 国内外の法規制の遵守はもとより、**自らの責任において**、社会の期待を考慮した環境負荷低減の**目標を設定し**、その実現に努める。
2. 環境負荷低減の目標達成を可能にする**技術革新**の推進に努めるとともに、環境保全推進体制の維持・改善を継続的に展開する。
3. 事業所設備の開発・設計・稼動にあたっては、環境との調和を常に把握し、汚染予防、エネルギーや資源の有効利用および廃棄物の削減と責任ある処理を行う。
4. 企画・開発・設計・購買・生産から販売・物流・使用・リサイクル・廃棄に至る**すべての段階において**、環境への負荷が少なく安全に配慮した製品とサービスを提供する。
5. 環境教育を通じ、**全社員の意識向上**を図るとともに、一人ひとりが広く社会に目を向け、自ら責任を持って環境保全活動を遂行できるよう、啓発と支援を行う。
6. あらゆる国や地域において、社会と企業との連携を密にし、**積極的な情報開示**、環境保全活動の助成・支援によって、広く社会に貢献する。



# 環境保全活動の3ステップ



## 環境対応

## 環境保全

## 環境経営

### 狙い (コンセプト)

圧力への対応  
・法規制  
・競合  
・お客様

地球市民としての使命  
・自主責任  
・自主計画  
・自主活動

環境保全と利益創出の  
同軸化

### 活動内容

法規制、競合、  
お客様に追随した  
消極的な活動

1.高い目標を掲げた  
積極的な地球環境  
負荷低減活動  
2.社員の意識改革

環境保全活動  
≒ QCD達成活動  
例) 部品点数削減  
工程数削減  
歩留り、稼働率向上

### ツール

1.ISO14001シリーズ  
2.LCA (環境負荷  
情報システム)  
3.環境ボランティアデー

1.戦略的目標管理制度  
2.環境会計

# 環境保全活動の基本スタンス



「環境保全と経済価値の追求は同軸である。」

- ①環境保全活動は企業の使命である。
- ②企業活動はボランティアでは継続できない。
- ③両者は「同時実現」できるもの、すべきものである。

できたらやろう、ではなく…

# 環境経営システム & 実践事例

# 環境経営システム



- ・実効のある環境保全活動を継続するために、経済価値を追求する“経営”と同軸化・融合
- ・21世紀に存続できる企業であり続けるために、環境保全など社会からの期待に応える

## ＝環境経営を実現するために＝

### 1. 環境負荷の把握と削減

- ・環境マネジメントシステム
- ・環境負荷情報システム

### 2. 経済合理性の確認

- ・環境会計システム

### 3. インセンティブの付与

- ・戦略的目標管理制度

### 4. 社員意識の向上

- ・環境教育、環境ボランティア活動、ISO14001認証取得活動、ごみゼロ活動

### 5. 外部とのコミュニケーション・パートナーシップ

- ・報告書、ホームページ
- ・お客様とのパートナーシップ（製品情報開示、オフィスソリューション）
- ・部品メーカーとのパートナーシップ
- ・環境社会貢献

# 環境マネジメントシステム

## - ISO14001 認証取得 -



経営トップから現場まで意志を共有

2001年度末までに全世界全事業拠点で  
マネジメントシステムを構築し、ISO14001 認証取得

- ・初取得: 御殿場事業所 ('95年、ISO/DIS14001)
- ・リコー本体 : 取得完了  
(生産系7事業所、非生産系11事業所)
- ・国内生産関連会社 : 取得完了(9事業所)
- ・海外生産関連会社 : 取得完了(10事業所)
- ・国内外販売関連会社: 取得完了(2002年度10月)

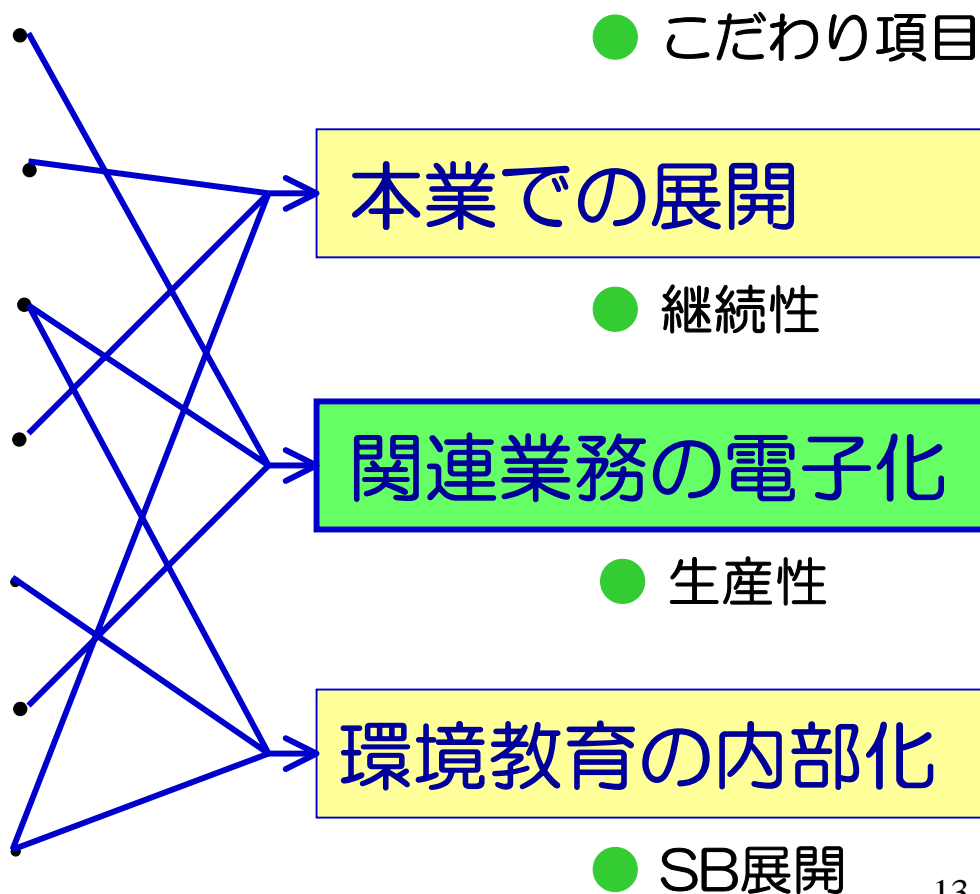
# ISO14001 認証取得事例



国内販売系グループでの認証取得：2001年12月14日

- 地域性 (全国410拠点)
- 組織の性格 (52社一括)
- 従業員規模 (18000名)
- 業務内容 (機器類の販売)
- 行動パターン (訪問販売)
- 活動経緯 (ISOは初めて)
- 目指す姿 (SB体質)

\* Solution Business



# 販売系EMS関連DB

閉じる

## 販売系環境管理規則DB

環境管理規則/細則

## EMS担当者DB

各社の委員・担当者 名簿

## 環境管理マニュアルDB

環境管理マニュアル/環境方針

## 環境監査員DB

各社の環境監査員 名簿

## モニタリングDB

監視・測定手順書/  
記録/不適合・是正報告 等

## 環境影響評価DB

環境側面

## 環境教育マニュアルDB

各種教育用資料

## 内部環境監査DB

監査計画・結果報告/  
不適合・是正報告 等

## 法規制DB

法律/条例/自主規制

## コミュニケーションDB

環境情報(外部・内部)/Q&amp;A

## 事業所(サイト)管理DB

各社の事業所(サイト)登録

## 全体EMP DB

環境目的・目標/  
環境マネジメントプログラム

## 文書管理DB

お知らせ文書/管理文書一覧/  
運用手順書/会議開催通知/議事録 等

下の2つのDBは、各社・各支店のサーバーに登録されています。  
DBの開き方は、各社のIT/S担当の方か環境担当の方にお問い合わせください。

個別EMP DB

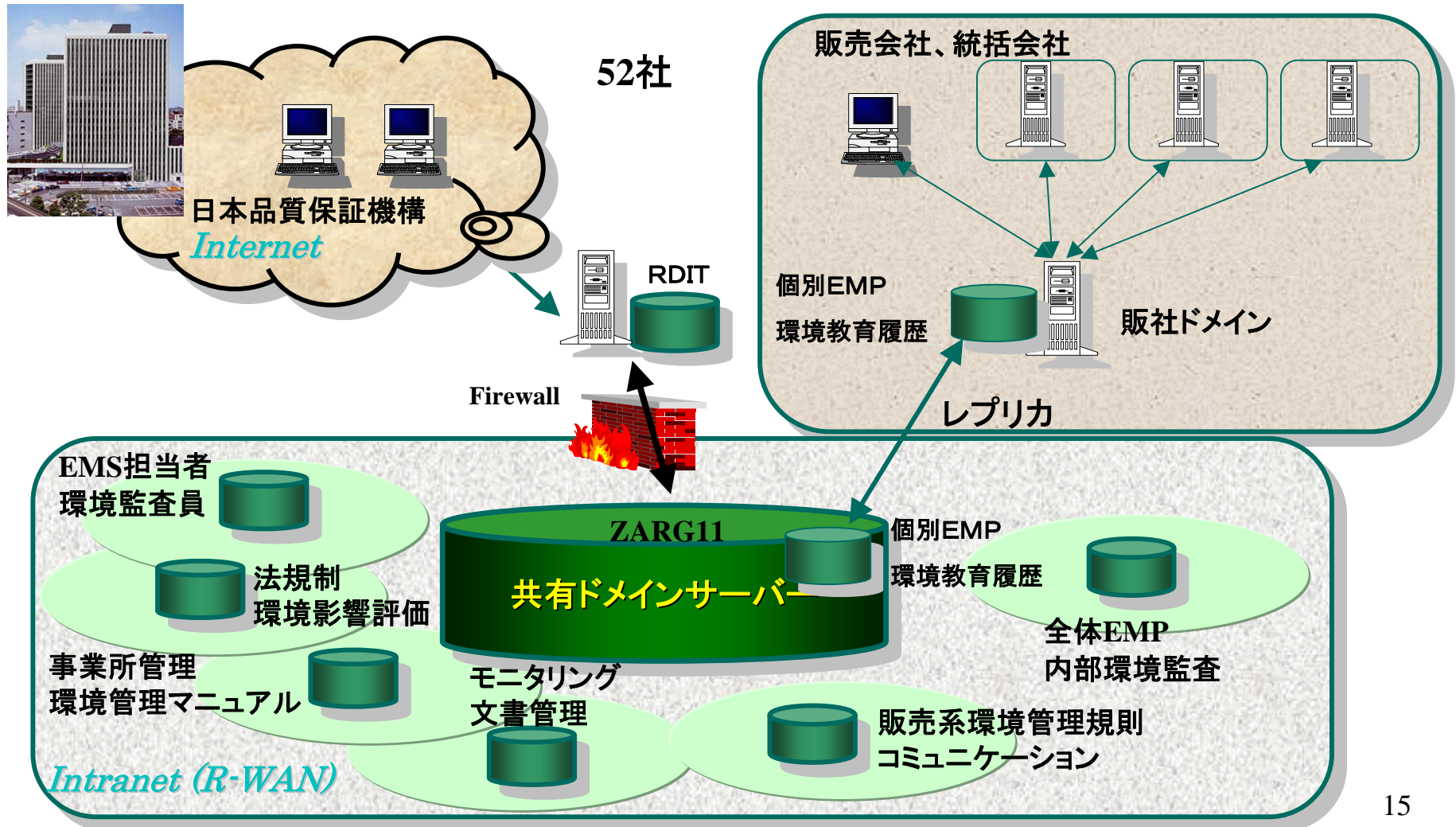
環境教育履歴DB



## 販売系環境情報DB

- ・新聞/雑誌
- ・安全データシート
- ・製品環境情報 など

# 電子審査（ネットオーディット） 登録審査において日本初





# 電子化による業務改善効果



| 必要文書類          |          | 枚数(原本) | 必要単位   | 初期枚数    | 改訂枚数     | 総枚数     |
|----------------|----------|--------|--------|---------|----------|---------|
| ①環境方針書         | 拠点ごと     | 1      | 410    | 410     | 205      | 615     |
| ②環境管理マニュアル     | 拠点ごと     | 5      | 410    | 2,050   | 1025     | 3,075   |
| ③環境管理規則        | 拠点ごと     | 125    | 410    | 51,250  | 25625    | 76,875  |
| ④環境法規制         | 法律       | 50     | 410    | 20,500  | 10250    | 30,750  |
|                | 条例(拠点ごと) | 20     | 410    | 8,200   | 4100     | 12,300  |
| ⑤環境影響評価        | 会社ごと     | 50     | 49     | 2,450   | 1225     | 3,675   |
| ⑥環境目的・目標       | 拠点ごと     | 10     | 410    | 4,100   | 2050     | 6,150   |
| ⑦環境マネジメントプログラム | 拠点ごと     | 20     | 410    | 8,200   | 4100     | 12,300  |
| ⑧環境教育マニュアル     | 支店       | 155    | 8      | 1,240   | 620      | 1,860   |
|                | 会社ごと     | 79     | 49     | 3,871   | 1935.5   | 5,807   |
| ⑨環境教育履歴書       | 個人       | 2      | 18,000 | 36,000  | 18000    | 54,000  |
| ⑩コミュニケーション記録   | 個人       | 0.5    | 18,000 | 9,000   | 4500     | 13,500  |
| ⑪各種運用手順書       | 拠点ごと     | 30     | 410    | 12,300  | 6150     | 18,450  |
| ⑫モニタリング(測定記録)  | 拠点ごと     | 60     | 410    | 24,600  | 12300    | 36,900  |
| ⑬内部監査          | 拠点ごと     | 50     | 410    | 20,500  | 10250    | 30,750  |
| ⑭その他文書(約10文書)  | 会社ごと     | 100    | 49     | 4,900   | 2450     | 7,350   |
| 総合計            |          |        |        | 209,571 | 104785.5 | 314,357 |

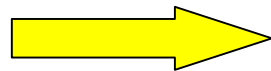
30万枚  
の削減

★初期枚数は約21万枚だが改訂、廃止を考慮すると実際には枚数は50%増となる。



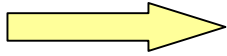
# 電子化による業務改善効果(2)

業務量削減



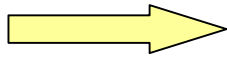
年間トータルで  
約61,680時間

## 1. 文書管理業務時間

もし全ての文書を紙文書で構築すると、各拠点ごとに文書管理が必要となる。  電子化するとDBで自動管理。

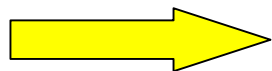
算出式=月 10時間×410拠点×12ヶ月 = 49,200時間

## 2. 文書発送業務時間

これも紙文書で構築すると、改訂後の最新文書は必ず、410拠点に送付しなければならない。  DBで即時送付。

算出式=1時間×20文書×52社×12ヶ月 = 12,480時間

定性的効果

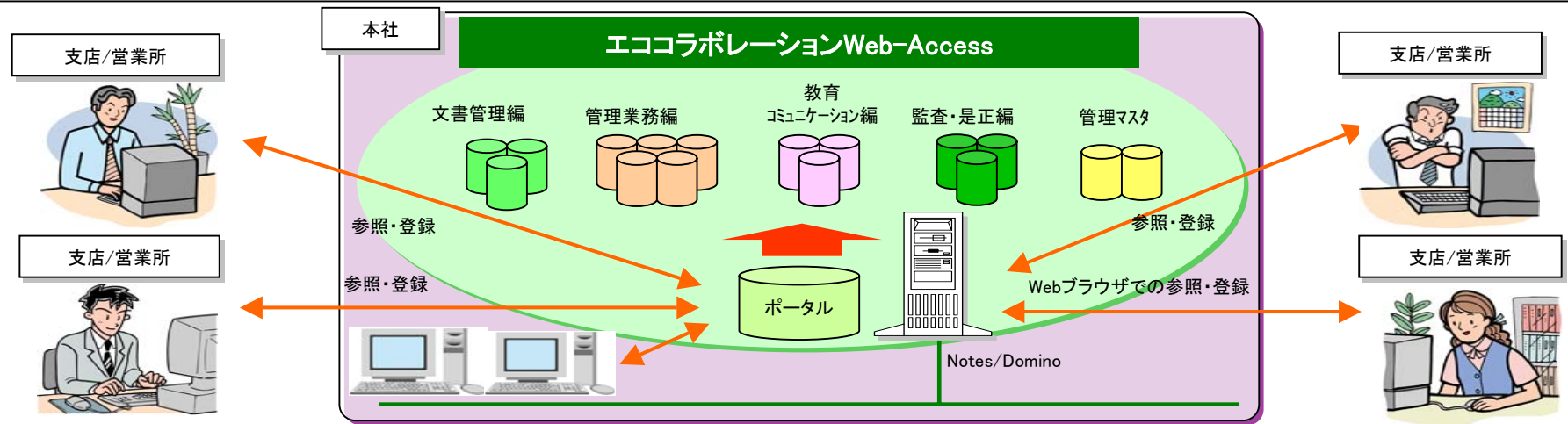


情報の共有化、即時性  
EMS業務の共通化

Notes/Domino R5  
Notes/Domino 6  
対応

～RGO環境マネジメントシステム支援ツール～  
**エコラボレーション Web-Access**

システム概要



商品構成

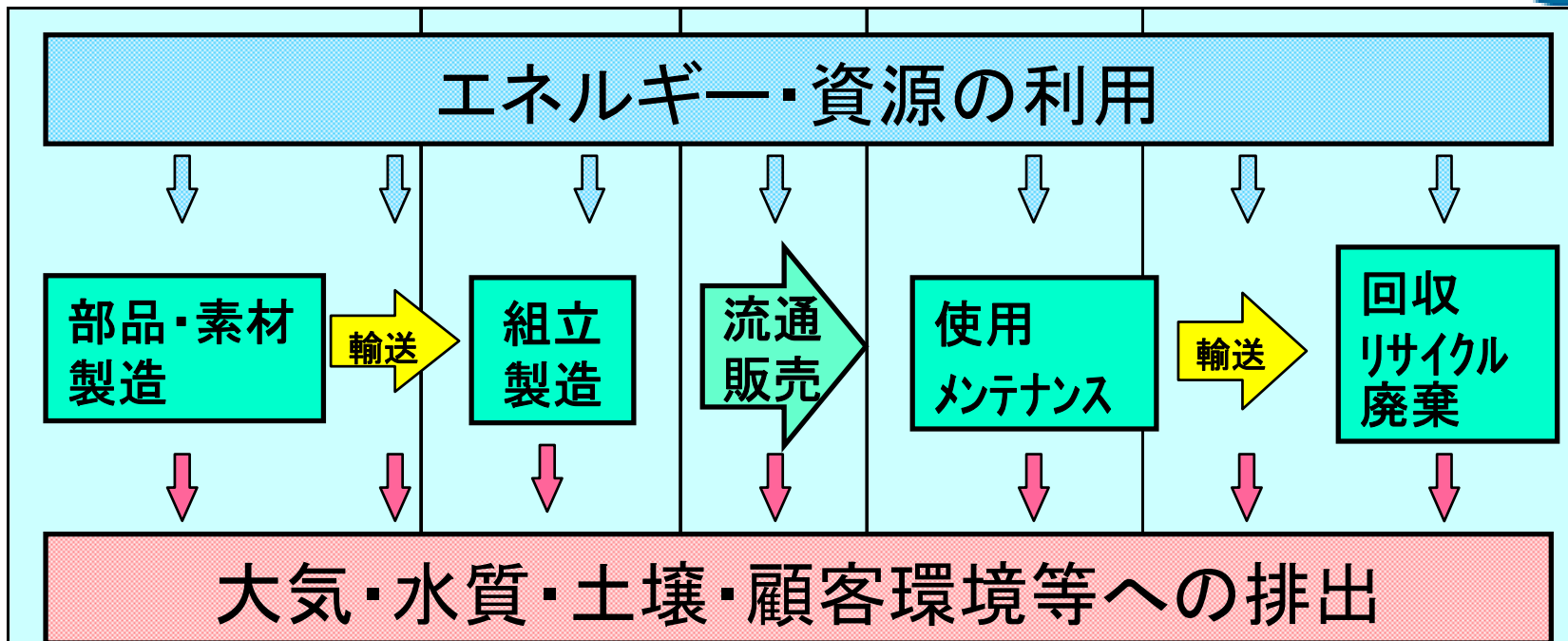
| EMSポータルDB   |  |   |   |   |
|---|--|---|---|---|
| <マスタDB>   | 文書管理編  | 管理業務編   | 教育・コミュニケーション編   | 監査・是正編  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・EMS担当者DB</li> <li>・サイト管理DB</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境マニュアルDB</li> <li>・規定DB</li> <li>・一般文書管理DB</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境影響評価DB</li> <li>・法規制DB(住所マスタ)</li> <li>・環境マネジメントプログラムDB</li> <li>・モニタリングDB</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境教育マニュアルDB</li> <li>・環境教育履歴DB</li> <li>・コミュニケーションDB</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・是正/予防DB</li> <li>・内部環境監査DB</li> <li>・環境監査員DB</li> </ul> |

「エコラボレーションWeb-Access」はノーツのデータベースで、各種データベースの入り口となるポータルとEMS関連業務データベース（文書管理編、管理業務編、教育・コミュニケーション編、監査・是正編）と文書作成・登録時に利用するマスターデータベースから構成されています。

# 環境負荷情報システム

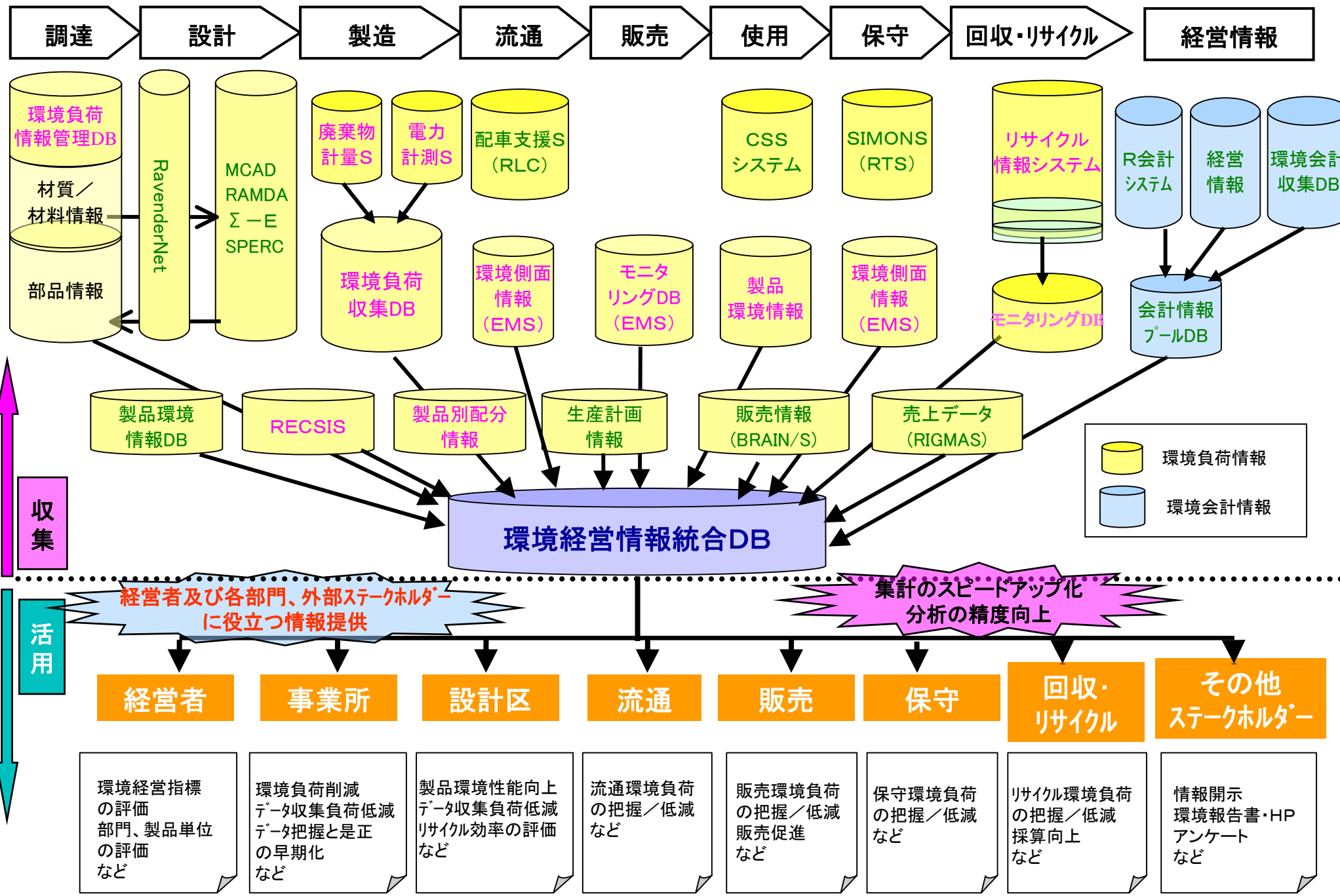


\* コメットサークルの第1コンセプト対応

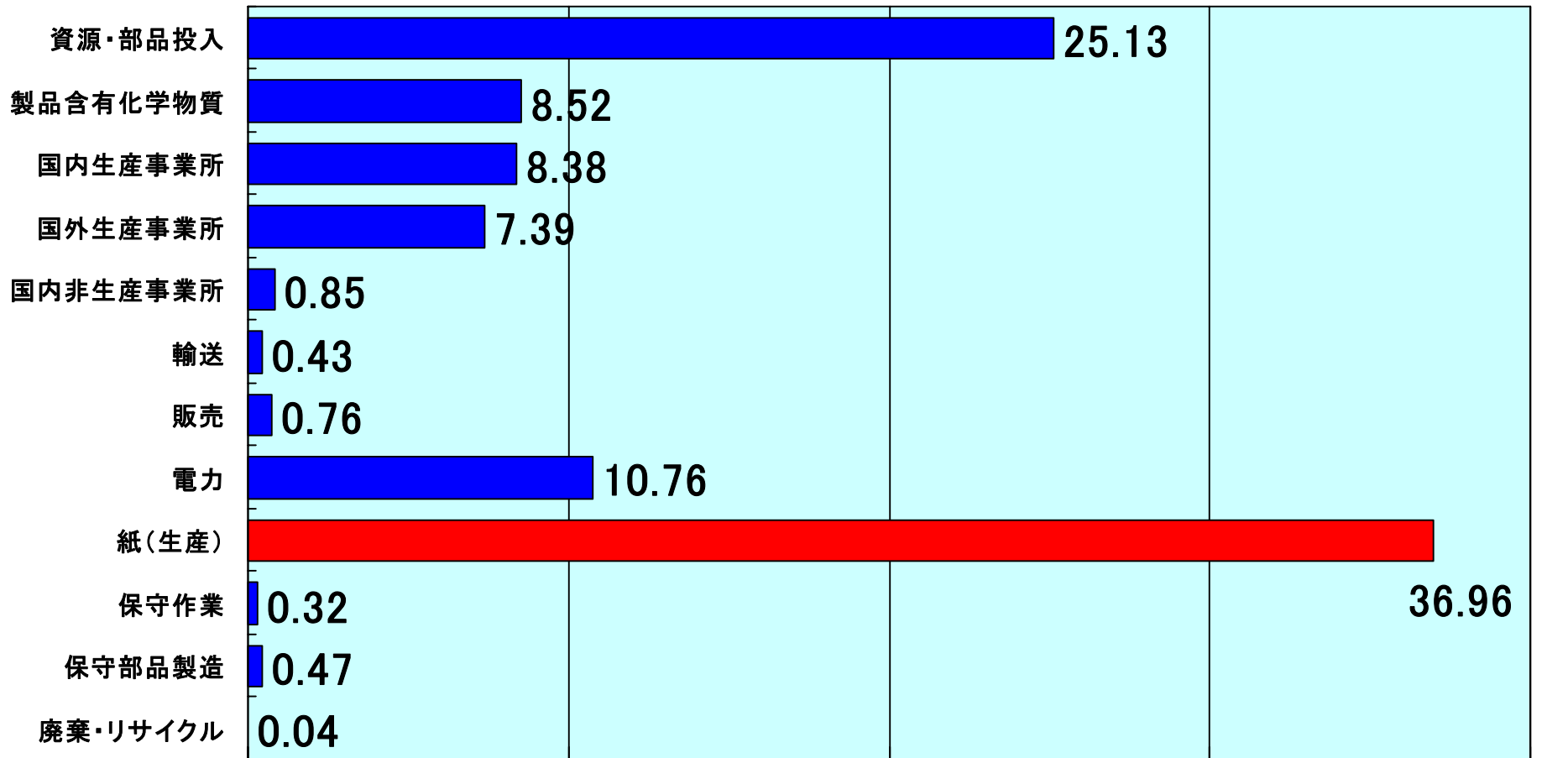


|       |                                     |                    |         |                        |                            |
|-------|-------------------------------------|--------------------|---------|------------------------|----------------------------|
| 地球温暖化 | CO2<br>代替フロン<br>の排出                 | CO2<br>代替フロン<br>排出 | CO2     | CO2 (製品の電力<br>や紙使用を含む) | CO2                        |
| 大気汚染  | NOx、SOx<br>トルエン等有害物の<br>排出          | NOx、SOx<br>有害物の排出  | NOx、SOx | NOx、SOx                | NOx、SOx<br>有害物の排出(ダイオキシン等) |
| 水質汚濁  | BOD、COD、全リン、全窒素<br>塩素系溶剤・洗剤等の<br>排出 | BOD、COD等           |         |                        | BOD、COD等<br>洗剤等の排出         |
| その他   |                                     | 騒音、臭気、<br>埋立廃棄物等   | 埋立廃棄物   | オゾン、粉じん、<br>騒音         | 有害物による土壌汚染<br>埋立廃棄物        |

実績の把握が全てのベース ⇒ 環境行動計画、環境会計、外部へのデータ開示



# リコーの事業活動が及ぼす 環境影響の把握



「環境影響を把握し、改善活動につなげる」

# ペーパーレス オフィスの実現



## 佐賀リコーのペーパーレスオフィス

## リコー関西のペーパーレスオフィス

＜ムダに資源（紙・電力）を消費しないオフィス＞

袖机・トレイの禁止・廃止  
ノートPC・無線LAN使用

ペーパーレスFAX受信  
ペーパーレス回覧配信



＜資源分別棚＞

＜事務初風景＞

佐賀リコーは、先ず自社のペーパーレス化を推進し、お客様に現場をご覧頂くとともに、お客様がペーパーレス化を進める事による「コストダウンシミュレーション」もご紹介しております。

リコー関西NSC(大阪・淀屋橋)のオフィスはITを活用しペーパーレスと業務改善を実施したライブオフィスとしてお客様に紹介し大変好評を頂いております。

リコーグループは2002年3月に全世界の生産工場で「ごみゼロ」を達成しました。また、工場のみならず国内外のオフィスでもごみゼロ活動を展開し「ごみゼロオフィス」の数を増やしています。

また、リコーグループでは「ごみゼロ活動」とリコーのIT機器を使用しオフィス業務の効率化を狙った「ペーパーレスオフィス」の同時実現を追求し、販売店でペーパーレスオフィスを推進し、現在その数を拡大中です。

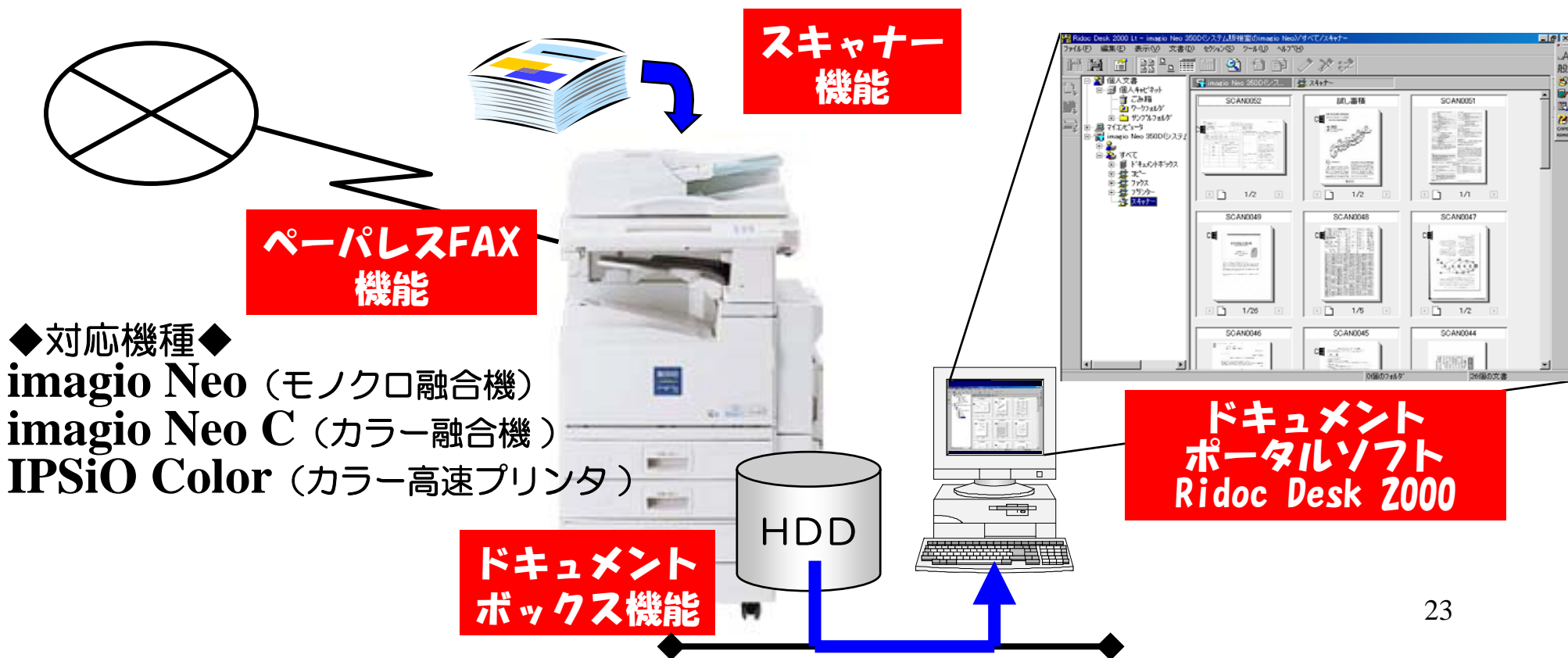
### ●各種ルール策定

- ・机周りの基本ルール  
例) 文具類協同利用、卓上カレンダー禁止等
- ・配達物や文書保管の基本ルール  
例) 社内文書等の保管スペースを設置。  
例) カタログ等部門への届け物の一時保管。

# コピー/プリンタによる ペーパーレスシステム



1. ファクシミリ受信をパソコンへ表示
2. 紙による文書保存から電子ファイルへ
3. 高機能を簡単な操作で実現





# ソリューション提案事例

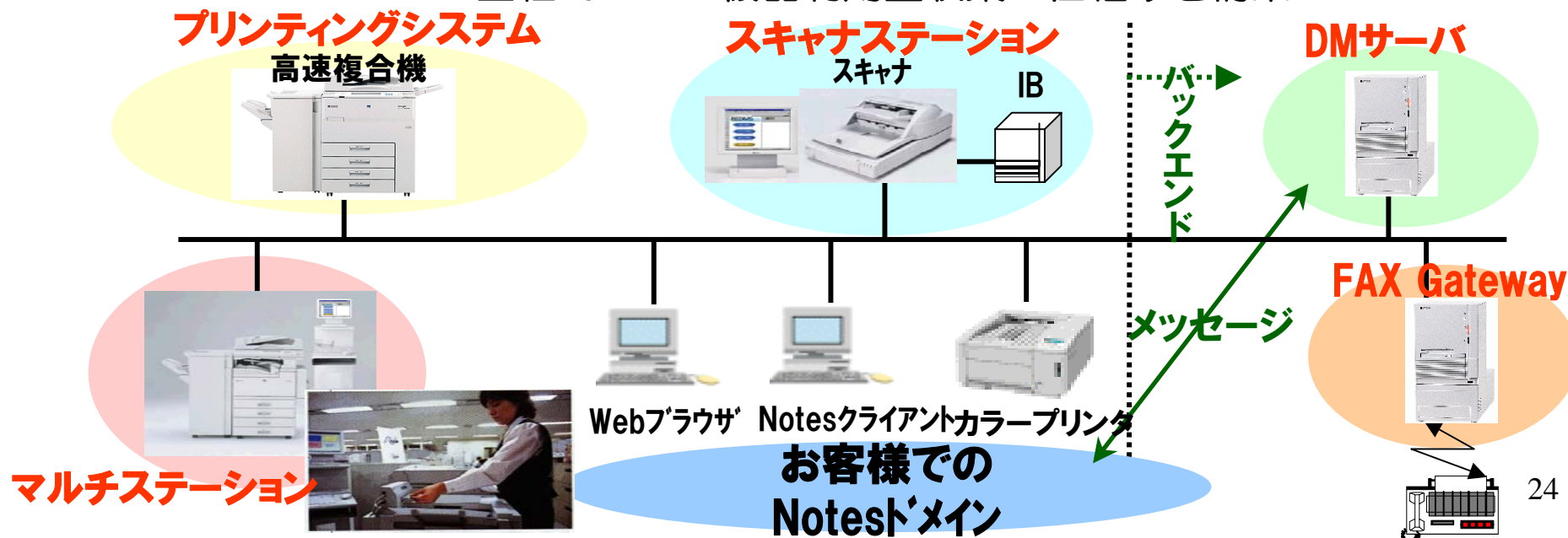


**N金属様(非鉄金属メーカー)**  
売上高:5,220億円(連結)  
従業員:12,700名(連結)  
IO機器台数:300台(一次分)  
紙使用枚数:1,800万枚(年間)  
削減効果予測:8,400万円(4年)

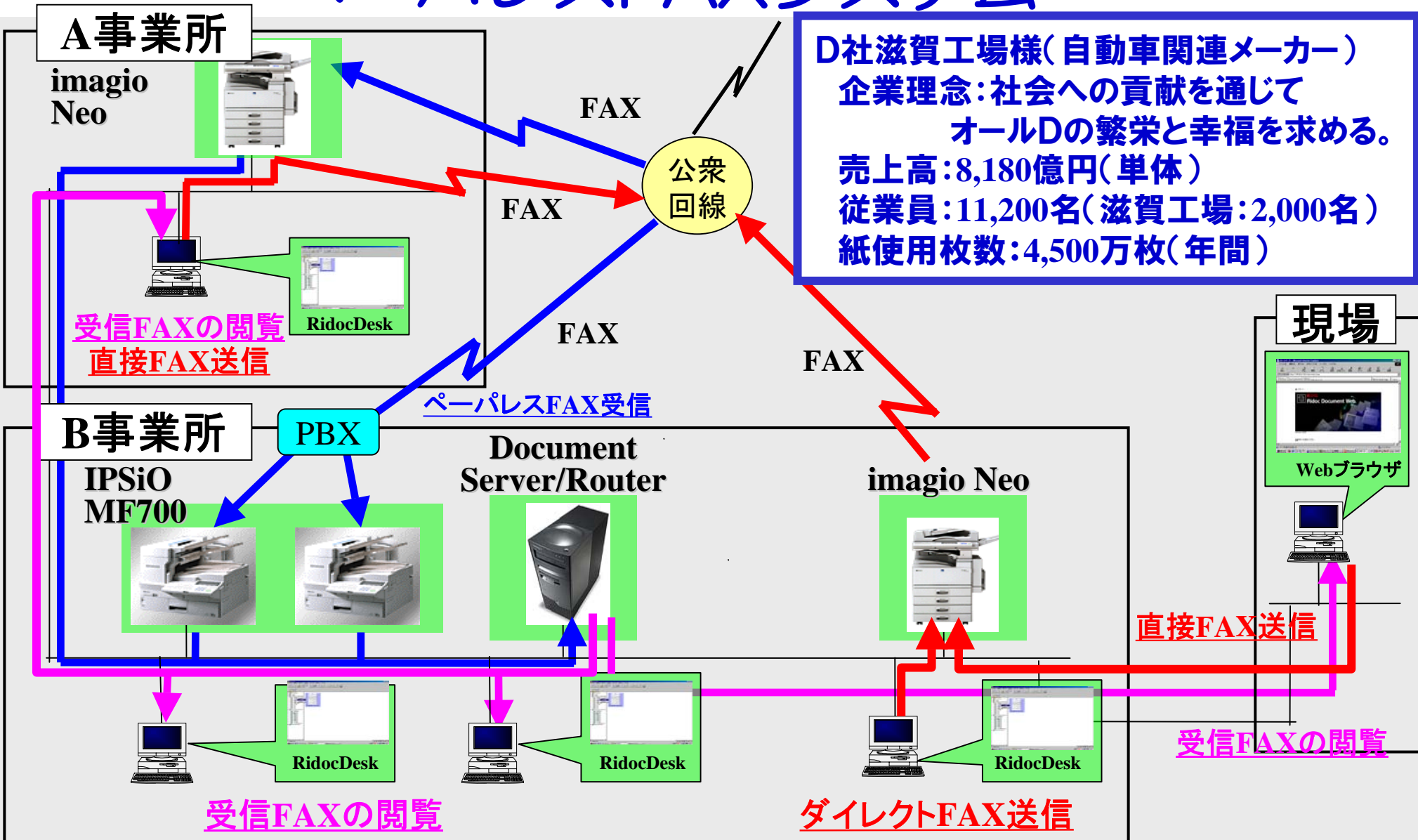
経営方針:アルミニウムを軸とした素材を通じて、「環境」と「社会」に広く貢献する企業グループをめざす。

- 効果①全社的にTCOを削減
- ②ISO14001対応として、ペーパーレスが徹底
- ③IT環境の有効活用が促進

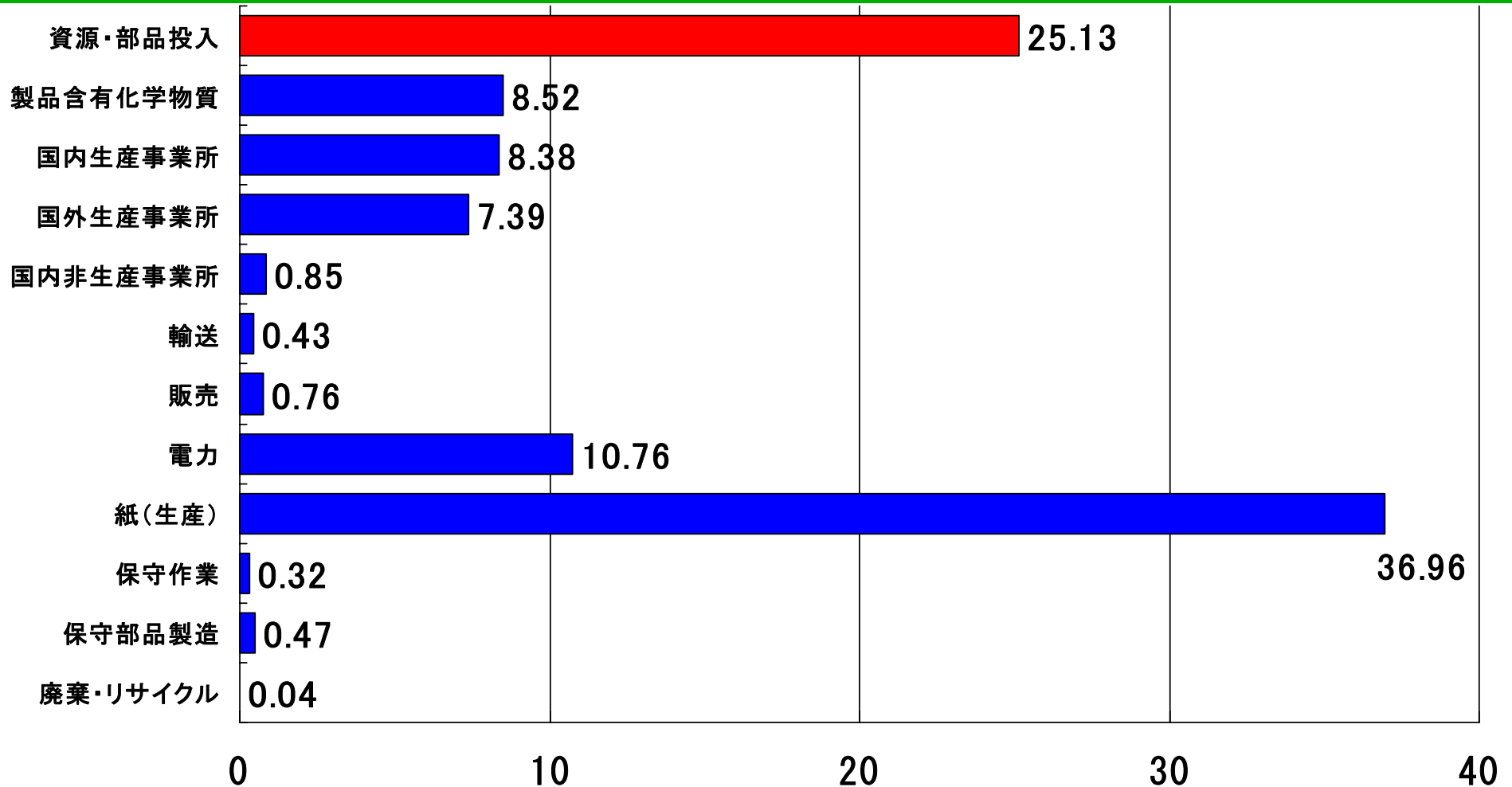
全社でのOA機器利用量収集の仕組みを構築



# ソリューション提案事例 ～ペーパーレスFAXシステム～



# リコーの事業活動が及ぼす 環境影響の把握



「環境影響を把握し、改善活動につなげる」

# 製品アセスメントシステム



社外秘

(株)リコー 画像システム事業本部

## リサイクル対応設計方針 (レベル4)

'99年6月01日

発行：株式会社 リコー  
画像システム事業本部  
リサイクル技術分科会

### 製品アセスメントチェックリスト(レベル4)

(○:100%反映, △:80%以上反映, ×:80%未満反映, -:対象外) →+↓

1/13

\*:判定リスト有

| 評価項目   | 評価基準       | 判定基準           | 評価結果              |      | No. |
|--------|------------|----------------|-------------------|------|-----|
|        |            |                | 判定                | コメント |     |
| 製品ユニット | 1) 製品本体の設備 | (1) 基礎データ項目、方法 | ・リセット不可のメモカウソタを装着 |      |     |

## リコー製品アセスメントチェックリスト (レベル4) 実施結果報告書

・テーマ名 \_\_\_\_\_

・テーマ No. \_\_\_\_\_

### ・実施結果

| 実施ステージ         | 企画審議会 | 設計審議会 | 生産化会議 |
|----------------|-------|-------|-------|
| 対象項目数          | /     | /     | /     |
| 100%反映項目数 (○)  |       |       |       |
| 80%以上反映項目数 (△) |       |       |       |
| 80%未満反映項目数 (×) |       |       |       |

| 配布先 | 部数 |
|-----|----|
|     |    |
|     |    |
|     |    |

製品全体のチェック結果を製品アセスメントチェックリストに落とし込んで評価している。('93年5月よりスタート)

|    |       |       |       |
|----|-------|-------|-------|
| 審査 |       |       |       |
| 承認 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 |

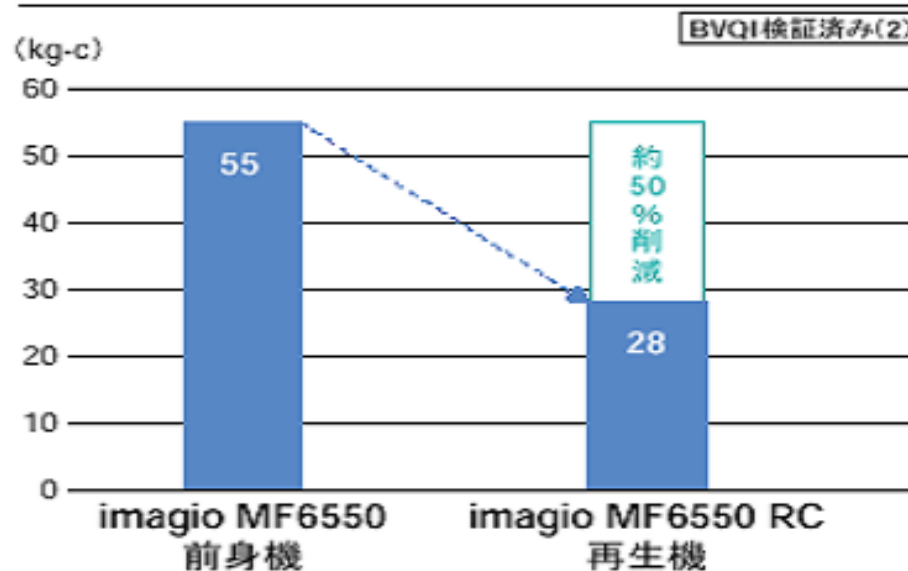
# 再生デジタル複写機



**imagio MF6550 RC**  
デジタル複写機(コピー&プリンタ)



1. 業界最高水準のリユース部品使用率を達成(質量比87%以上)
2. 前身機(新品)に比べて、環境負荷を約50%削減

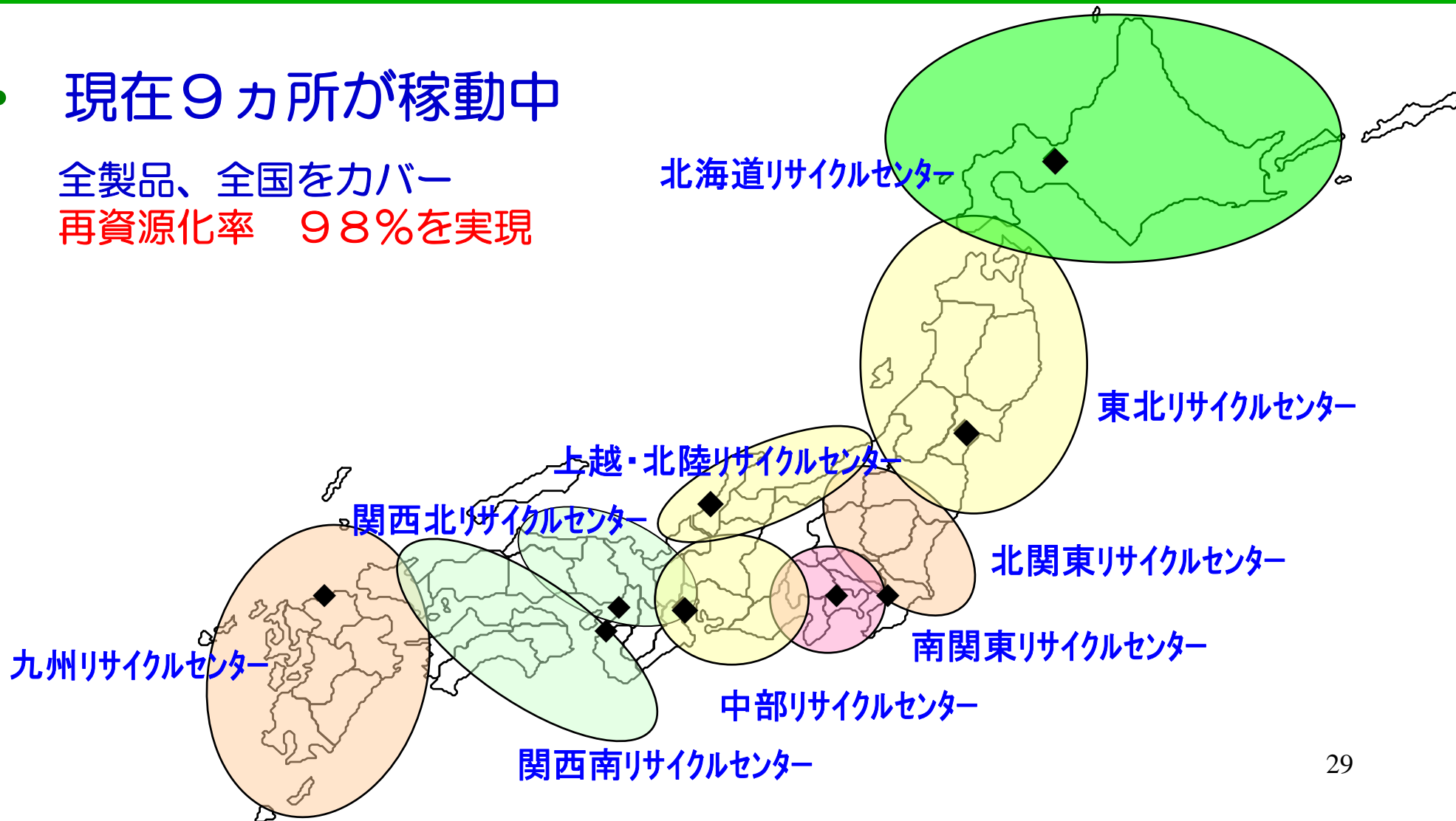


# リサイクルセンターの 全国展開完了

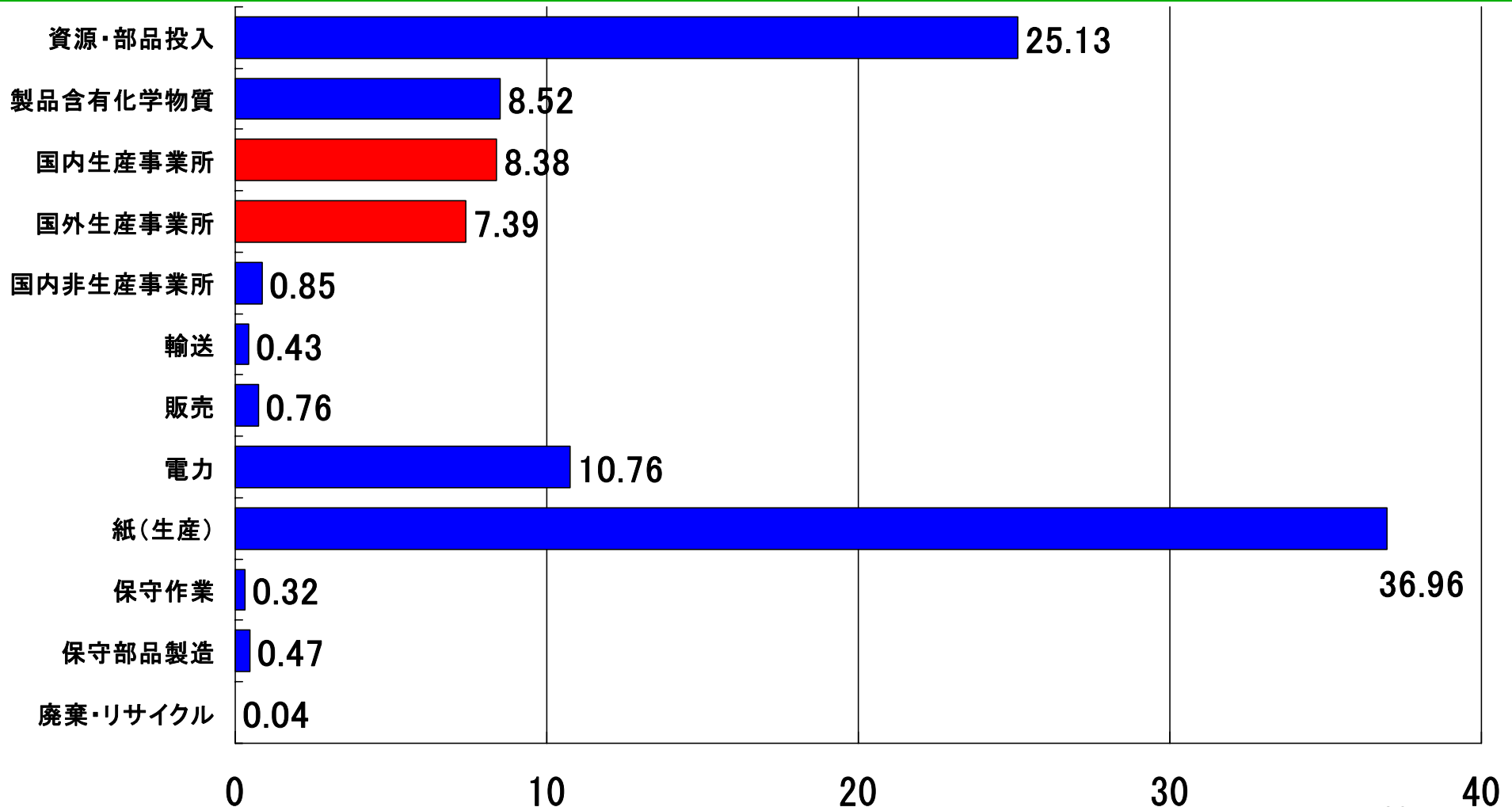


- 現在9カ所が稼動中

全製品、全国をカバー  
再資源化率 98%を実現



# リコーの事業活動が及ぼす 環境影響の把握



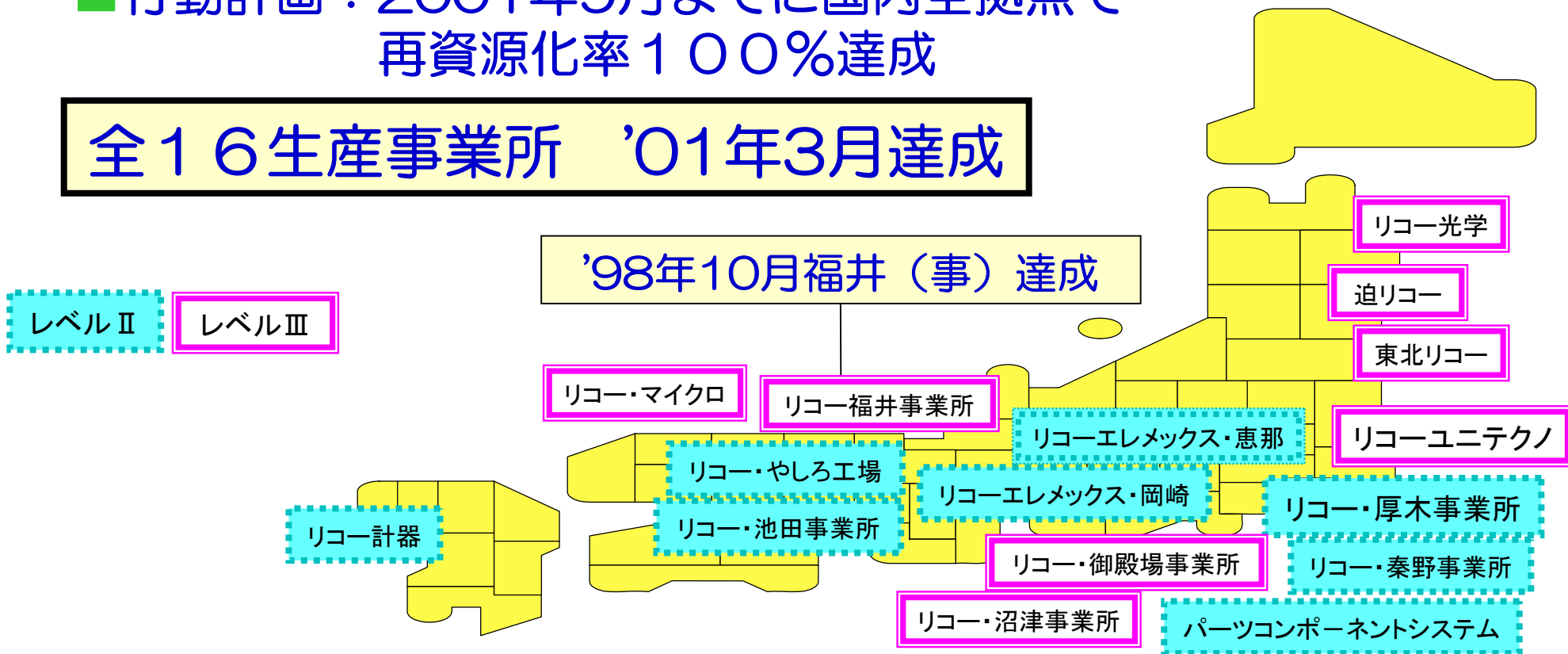
「環境影響を把握し、改善活動につなげる」

# 事業所のごみゼロ事例（国内）



■ 行動計画：2001年9月までに国内全拠点で再資源化率100%達成

全16生産事業所 '01年3月達成



非生産事業所でも ごみゼロを達成

青山・戸田・新横浜・銀座・品川

販売会社：15社、福井リコー・岩手リコー・リコー東北・長野リコー・神奈川リコー・佐賀リコー・RTS

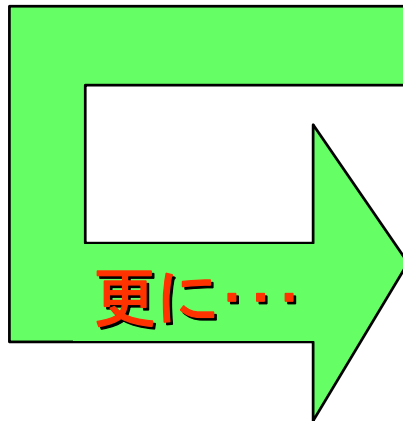
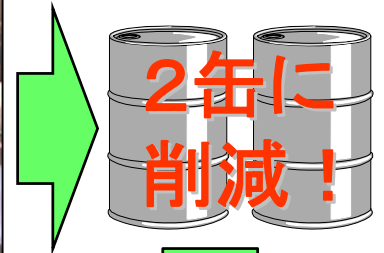
東京リコー・山形リコー・秋田リコー・福島リコー・千葉リコー・埼玉リコー・リコー中国・青森リコー



# リコーの環境活動 —事業所のごみゼロ事例—



## 食堂の残飯



# ごみゼロ活動の環境会計



再資源化率100%達成に伴うコスト削減事例（沼津事業所98年度実績）

| 費用    |                   |      | 効果    |                 |                                      |             |
|-------|-------------------|------|-------|-----------------|--------------------------------------|-------------|
| 項目    | 主な費用              | 費用   | 金額効果  | 項目              | 環境負荷削減量                              | 環境負荷削減量     |
| 直接的費用 | コンポスト費など          | 0.42 | 27.01 | 廃棄物処理費削減額       | 廃棄物削減量<br>265t                       | 最終処分量<br>0t |
| 間接的費用 | 廃棄物処理管理費<br>人件費など | 4.22 | 8.89  | 有価物売却益          |                                      |             |
|       |                   |      | 14.35 | グリーン調達によるコストダウン | 再資源化率<br>59.1%→100%<br>(97年度末→98年度末) |             |
| 総計    |                   | 4.64 | 50.25 |                 |                                      |             |

（単位：百万円）

# 環境経営システム



- ・実効のある環境保全活動を継続するために、経済価値を追求する“経営”と同軸化・融合
- ・21世紀に存続できる企業であり続けるために、環境保全など社会からの期待に応える

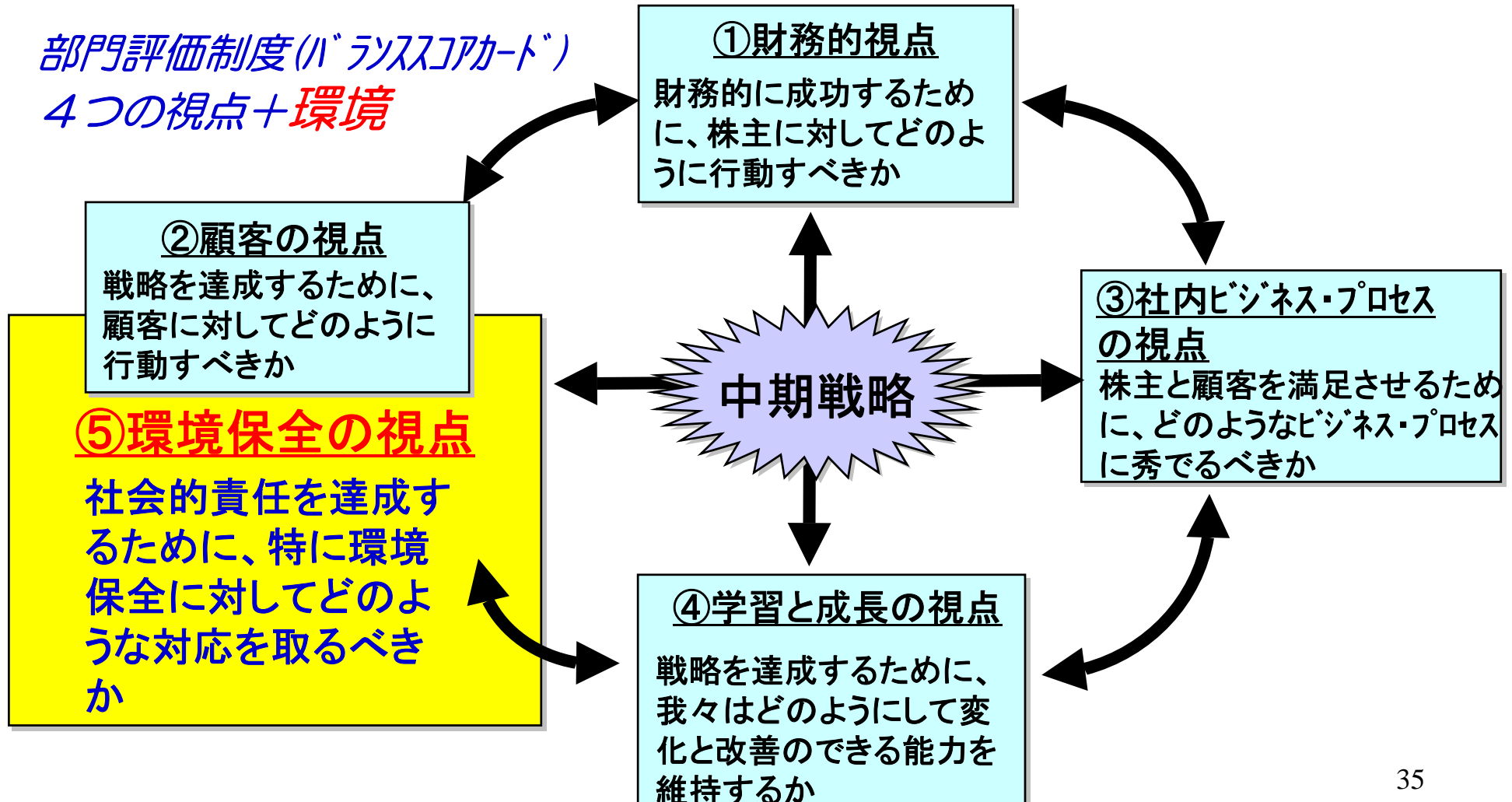
## ＝環境経営を実現するために＝

1. 環境負荷の把握と削減
  - ・環境マネジメントシステム
  - ・環境負荷情報システム
2. 経済合理性の確認
  - ・環境会計システム
3. インセンティブの付与
  - ・戦略的目標管理制度
4. 社員意識の向上
  - ・環境教育、環境ボランティア活動、ISO14001認証取得活動、ごみゼロ活動
5. 外部とのコミュニケーション・パートナーシップ
  - ・報告書、ホームページ
  - ・お客様とのパートナーシップ（製品情報開示、オフィスソリューション）
  - ・部品メーカーとのパートナーシップ
  - ・環境社会貢献



# 戦略的目標管理制度

部門評価制度(バランススコアカード)  
4つの視点+環境

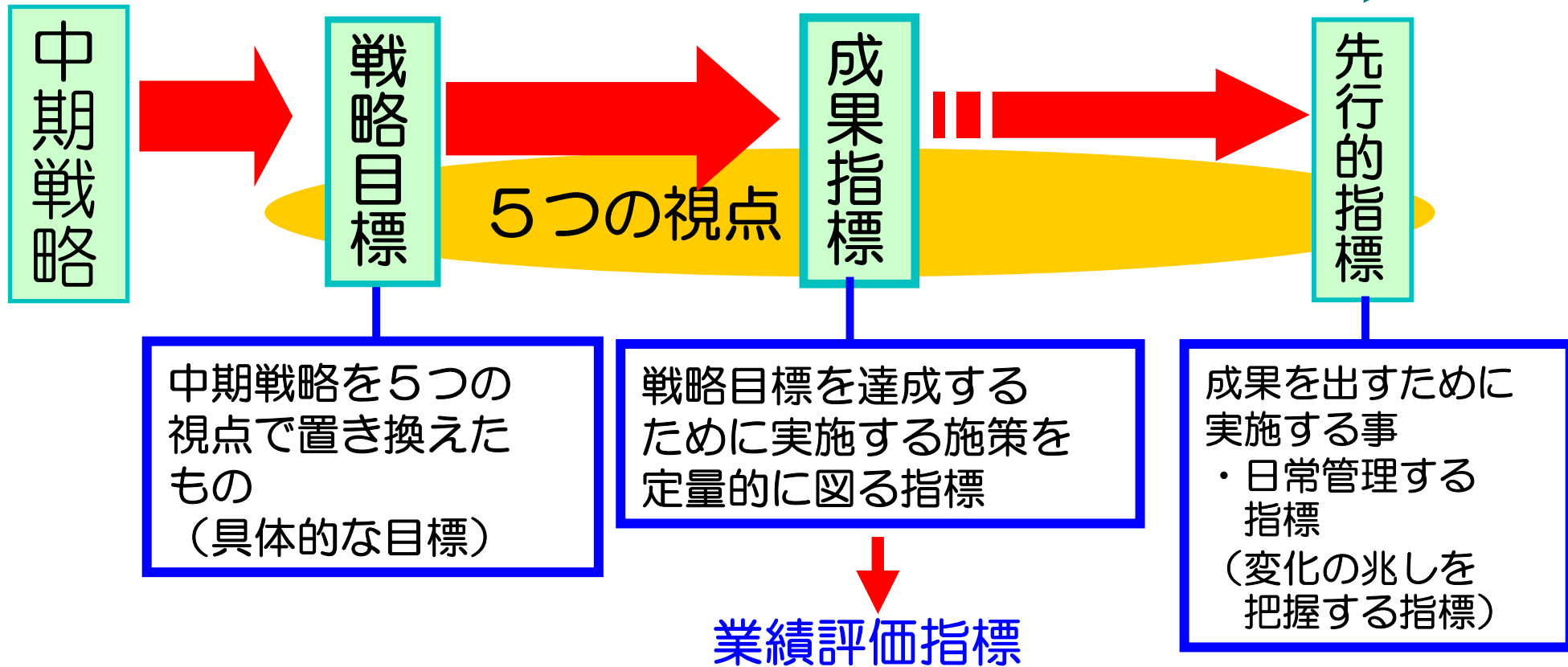


# 戦略から指標への展開



部門（長） → 部（長） → 課（長） → 課員

《コミュニケーションプラットフォーム》



- ・ 戦略目標達成の鍵となる要素を見つけ、そこに手を打ち、マネジメントする（仮説、検証のサイクル→学習する組織）
- ・ 意欲的な目標（ストレッチ・ゴール）を設定する

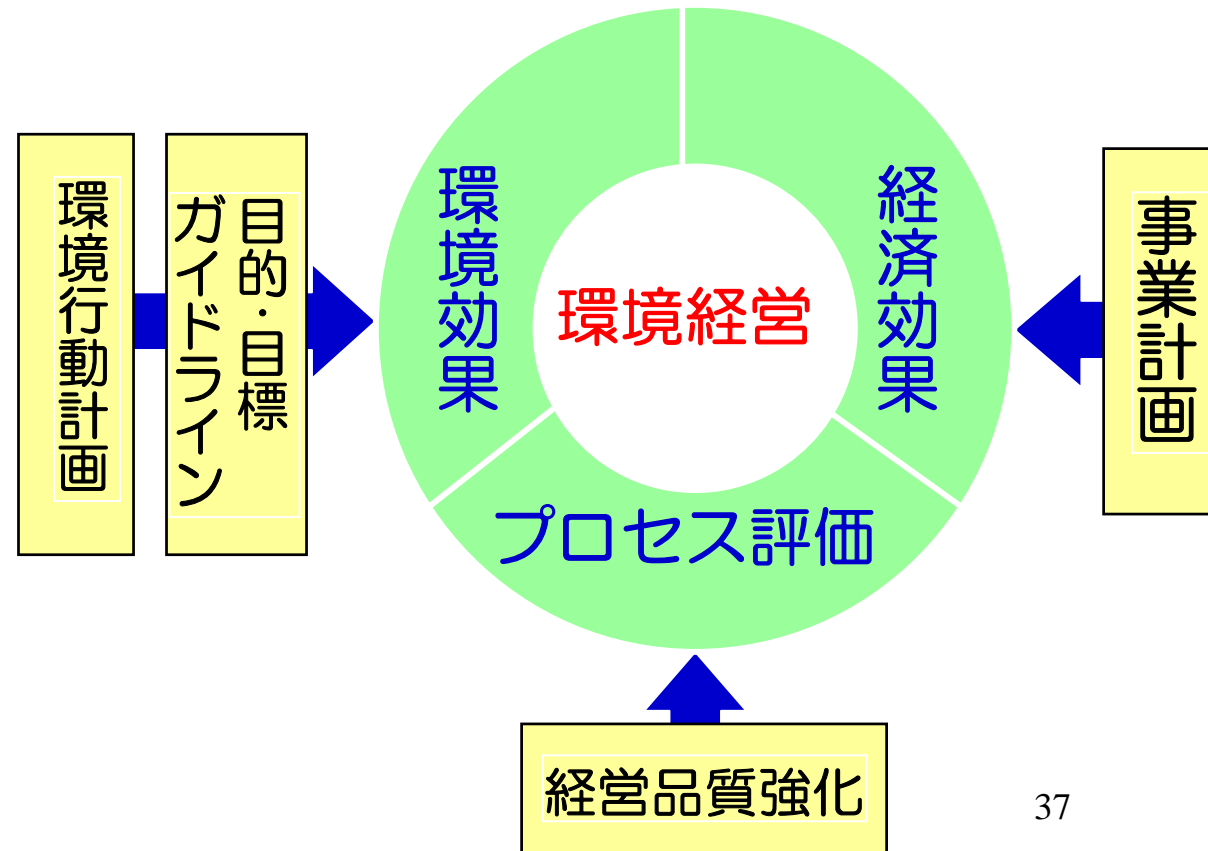
# 国内販売系グループ 環境経営進化度評価システム



## 環境経営のツール

- 見える管理へ
  - 経営との一体化
  - 意欲的なゴール
- = 運営 =
- 自主性重視(自己評価)
  - 結果は社内公開
  - 関連業務の電子化

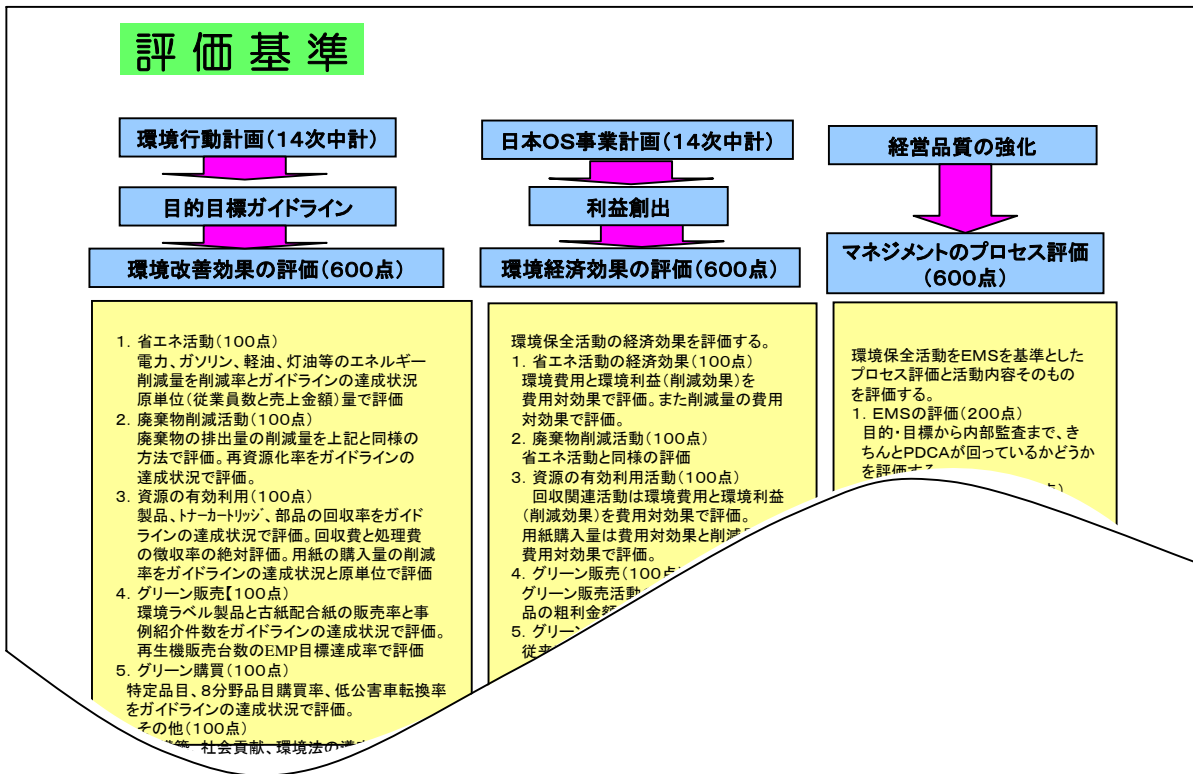
## 3つの視点で評価



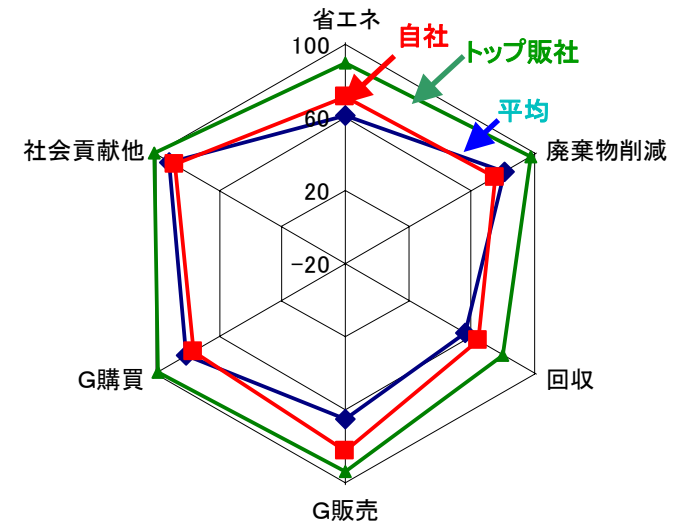
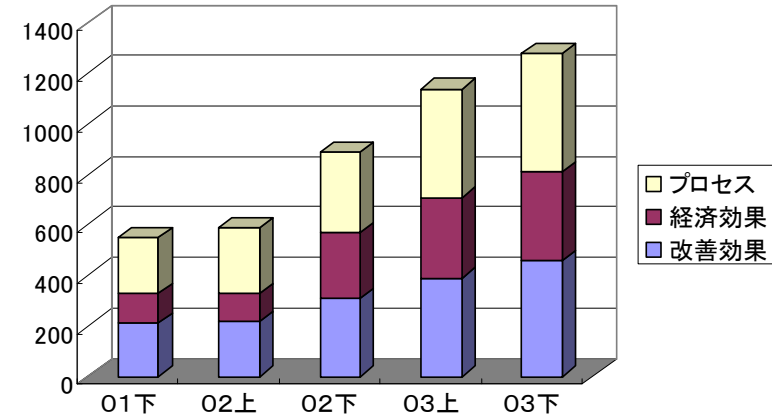
# 評価システムのアウトプット例



## 評価基準・スコア



## アウトプット例



# 環境経営システム



- ・実効のある環境保全活動を継続するために、経済価値を追求する“経営”と同軸化・融合
- ・21世紀に存続できる企業であり続けるために、環境保全など社会からの期待に応える

## ＝環境経営を実現するために＝

1. 環境負荷の把握と削減
  - ・環境マネジメントシステム
  - ・環境負荷情報システム
2. 経済合理性の確認
  - ・環境会計システム
3. インセンティブの付与
  - ・戦略的目標管理制度
4. 社員意識の向上
  - ・環境教育、環境ボランティア活動、ISO14001認証取得活動、ごみゼロ活動
5. 外部とのコミュニケーション・パートナーシップ
  - ・報告書、ホームページ
  - ・お客様とのパートナーシップ（製品情報開示、オフィスソリューション）
  - ・部品メーカーとのパートナーシップ
  - ・環境社会貢献

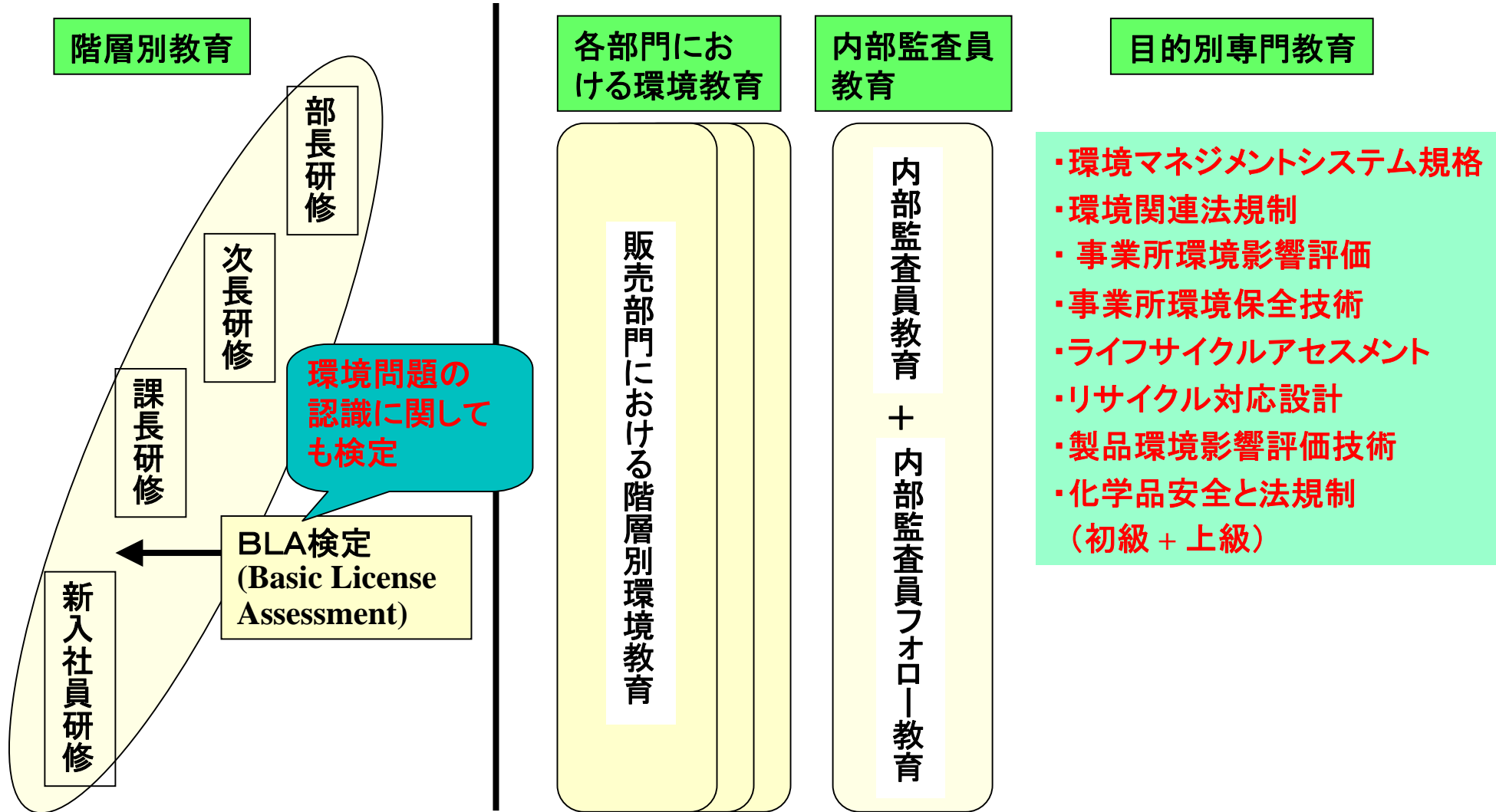


# 環境教育



《全社階層別必須教育》の中で

リコー独自の《環境教育》として



## 自己啓発

- ①環境社内報 ②環境HP ③環境講演会 ④環境ボランティア活動への参加 ⑤環境関連資格の取得等

# 環境教育



| 対象者     | 講師        | 教育時間  | 育成人員<br>(2001年12月現在) | 備考                |
|---------|-----------|-------|----------------------|-------------------|
| 社長・支店長  | 統括環境管理責任者 | 半日    | 53名                  | アンケート実施           |
| 環境管理責任者 | 環境審査員有資格者 | 2日    | 53名                  | テスト実施             |
| 環境推進委員  | 環境監査員     | 5.5時間 | 648名                 | テスト実施             |
| 部門・部署長  | 環境推進委員    | 半日    | 全員                   | テスト実施             |
| 一般従業員   | 部署長       | 2時間   | 全員                   | テスト実施／CBT／環境パスポート |
| 環境監査員   | 環境審査員有資格者 | 3泊4日  | 311名                 | テスト実施／有効期限2年      |

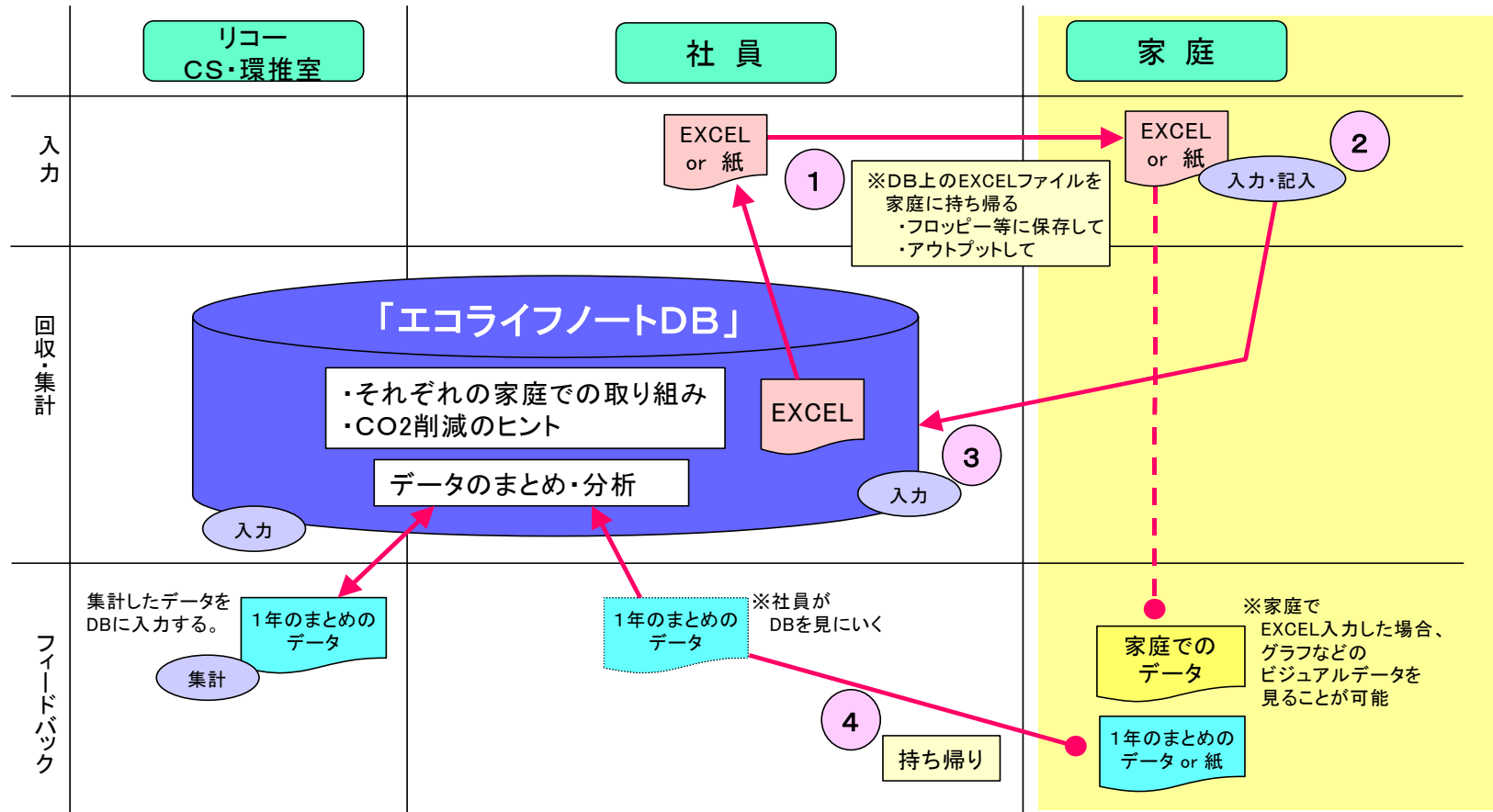
# 環境啓発事例（リコー販売グループ）

## 「エコライフノート」



### 「エコライフノート」活動の流れ

できる事からはじめてみよう!



# 環境啓発事例：エコライフノート



エコライフノート - 0-1.作成者別 - Lotus Notes

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 作成(C) アクション(A) ヘルプ(H)

Workspace エコライフノート - 0-1.作成者別

開じる 編集 我が家の取り組み作成

## エコライフノート

作成者別  
会社別参加人数

EXCEL  
家庭で利用する「EXCELファイル」はこちら

我が家の取り組み  
家庭での取り組みを皆さんにご紹介！

美蘭ちゃんとおじいちゃんの  
エコライフ  
CO2削減のポイントはこちら！

何でも質問！  
「エコライフノートについて」「DBIについて」  
など 質問があったらこちらから

DBの使い方

閉じる

販売系  
ISO14001  
EMS関連ナビ  
「ISO14001関連ナビ」へリンク

販売系  
環境情報DB  
「環境情報DB」へリンク

## エコライフノート

作成開始日：2008/05/22  
作成者：成田 輝夫 (Teruo Narita/R/RICOH)  
8-32-4035 5411-4523 ← 変更になった場合は、修正をお願いします。

会社名：55. (株) リコー 支店を除く販売事業本部  
年度：03年度 家族人数：5人

=====  
★我が家の取り組み★

ご家庭で、特に取り組んだことがあったら、アクションバーの 我が家の取り組み作成 を  
クリックして入力してください。  
入力いただいた内容は、みなさんにご覧いただき参考にさせていただきます。

・請求が2ヶ月に一度の場合は、2等分してインプットしてください。

|    |                       | 電気<br>(kwh) | 都市ガス<br>(m3) | LPガス<br>(m3) | 水道<br>(m3) | 灯油<br>(L) | ガソリン<br>(L) | 軽油<br>(L) | 合計     |
|----|-----------------------|-------------|--------------|--------------|------------|-----------|-------------|-----------|--------|
|    | CO2排出係数<br>(環境省データより) | 0.36        | 2.1          | 6.3          | 0.58       | 2.5       | 2.3         | 2.64      |        |
| 4月 | 使用量                   | 376         | 60           |              | 27.5       |           | 67.39       |           |        |
|    | 排出量(kg)               | 135.4       | 126.0        | 0.0          | 16.0       | 0.0       | 155.0       | 0.0       | 432.3  |
|    | 金額(円)                 | 8,762       | 8,127        |              | 7,111      |           | 6,671       |           | 30,671 |
| 5月 | 使用量                   | 378         | 54           |              | 27.5       |           | 29          |           |        |
|    | 排出量(kg)               | 136.1       | 113.4        | 0.0          | 16.0       | 0.0       | 66.7        | 0.0       | 332.1  |

スタート | エコライフノート - 0-1... | Microsoft Excel - EMP... | オフィス | 14:05

# 環境経営システム



- ・実効のある環境保全活動を継続するために、経済価値を追求する“経営”と同軸化・融合
- ・21世紀に存続できる企業であり続けるために、環境保全など社会からの期待に応える

## ＝環境経営を実現するために＝

1. 環境負荷の把握と削減
  - ・環境マネジメントシステム
  - ・環境負荷情報システム
2. 経済合理性の確認
  - ・環境会計システム
3. インセンティブの付与
  - ・戦略的目標管理制度
4. 社員意識の向上
  - ・環境教育、環境ボランティア活動、ISO14001認証取得活動、ごみゼロ活動
5. 外部とのコミュニケーション・パートナーシップ
  - ・報告書、ホームページ
  - ・お客様とのパートナーシップ（製品情報開示、オフィスソリューション）
  - ・部品メーカーとのパートナーシップ
  - ・環境社会貢献

# 環境社会貢献

## 1. 環境ボランティアリーダーの養成

- ・養成プログラム
  - リコー自然教室（初級、中級）
  - ボランティアリーダー全社会議
  - ボランティアリーダーの活動



## 2. 森林保全社会貢献プログラム

- ・森林生態系保全の意義  
(生物多様性保全に配慮した天然林保全と周辺林の復元活動)
- ・国内外NPOとのパートナーシップ



NPOとのパートナーシップ

アファソの森基金（C.W.ニコル）、日本野鳥の会、WWF、コンサベーション・インターナショナル、他多数



# 日本経済新聞

12月6日  
月曜日

発行所 日本経済新聞社  
 東京本社 〒100-8066 〇(03)3270-0251  
 東京都千代田区大手町 1-9-5  
 大阪本社 〒540-8588 〇(06)6943-7111  
 大阪市中央区大手前 1-1-1  
 名古屋支社 〒460-8366 〇(052)243-3311  
 名古屋市中区栄4-16-33  
 西部支社 〒812-8666 〇(092)473-3300  
 福岡市博多区博多駅東2-16-1  
 札幌支社 〒060-8621 〇(11)281-3211  
 札幌市中央区北1条西6-1-2

## 企業の環境経営ランキング 本社調査

環境経営度・製造業上位10社

| 順位     | 社名                           | スコア |
|--------|------------------------------|-----|
| 1(6)   | リコー                          | 668 |
| 2(3)   | 富士写真フイルム                     | 667 |
| 3(2)   | NEC                          | 664 |
| 4(8)   | 松下電器産業                       | 646 |
| 5(4)   | 富士ゼロックス                      | 640 |
| 5(11)  | NECアクセス<br>テクニカ              | 640 |
| 7(1)   | キヤノン                         | 637 |
| 8(31)  | トヨタ自動車                       | 636 |
| 9(17)  | 三菱電機                         | 631 |
| 10(71) | パナソニックモバ<br>イルコミュニケー<br>ションズ | 629 |

(注)カッコ内は前年調査の順位。スコアの最高は700

## 製造業、リコー首位

企業の環境保全への取り組みを評価する日本経済新聞社の第八回「環境経営度調査」によると、リコーが製造業の総合ランキングで四年ぶりに首位に返り咲いた。来年二月には先進国に温暖化ガス削減義務を課す京都議定書が発効する。企業経営にとって、生産活動と省エネ・省資源対策の両立が一段と重要になる。(関連記事9面、詳細を6日付日経産業新聞に)

調査は日経リサーチの協力を得て実施。リサイクルなどの「資源循環」、省エネなどの「温暖化対策」といった七項目(非

## 部品再利用 採算性も向上

製造業は六項目(の点数をもとに総合スコアを算出し順位を付けた。リコーは資源循環など各項目で高得点を得た。使用済み複写機を回収して部品を再び製品に使用したり、工場の廃材を再資源化したりする取り組みが進展。対策の採算性も向上させた。二位の富士写真フイルムはオフィスの環境対策の項目でトップ。三位のNECは社内イントラネットを使って化学物質管理などのノウハウを共有、全社的に対策を拡充している。

# 所 感



- 業績拡大と環境改善との調和
  - \* 両立と対立、設備投資・経費増
- 法規制遵守と自主管理
  - \* Beyond Compliance、競合優位、企業イメージ
- 意識と行動とのギャップ
  - \* 総論と各論、リサイクル商品の価格と性能/品質
- 環境に対する価値観の変化
  - \* 法規制、経営戦略、マスコミ、環境意識

トップダウン、同・異業種協力



# 環境経営の構築をめざして



## ■ 環境コミュニケーション戦略

環境に優しい企業活動を行い情報公開によって社会から信頼をいただくことが、21世をリードする(生き残る)企業となるための必要条件である。

## ■ 全員参加

国、企業・団体、個人など全ての地球市民が、自分が位置するコミットサークルの複数のステージにおいて、環境負荷削減に努める必要がある。

## ■ リーダーシップ

企業が環境保全活動を推進するには、トップの強いリーダーシップと哲学が必要である。

## ■ グリーンパートナーシップ

企業は自ら発生する環境負荷を削減するとともに、全てのステージとのパートナーシップを構築する事により、効果的に環境負荷を削減することができる。<sup>48</sup>



- 少しでも  
お役に立てば幸いです。
- ご静聴  
ありがとうございました。



「リコーグループの環境経営」  
ホームページはこちら

<http://www.ricoh.co.jp/ecology/>

是非一度お立ち寄りください。



# Q & A

# 日経産業新聞



## 2004年環境経営度ランキング

非製造業は最高600、それ以外は最高700

| 順位 | 企業名                       | スコア | 業種  | 順位 | 企業名          | スコア   |     |
|----|---------------------------|-----|-----|----|--------------|-------|-----|
| 1  | (6) リコー                   | 668 | 製造業 | 1  | 小売り・外食       |       |     |
| 2  | (3) 富士写真フイルム              | 667 | 製造業 | 1  | 西武百貨店        | 523   |     |
| 3  | (2) NEC                   | 664 | 製造業 | 2  | ローソン         | 500   |     |
| 4  | (8) 松下電器産業                | 646 | 製造業 | 3  | イトーヨーカ堂      | 481   |     |
| 5  | (4) 富士ゼロックス               | 640 | 製造業 |    | 〈金融〉         |       |     |
| 5  | (11) NECアクセステック           | 640 | 製造業 |    | 1            | びわこ銀行 | 536 |
| 7  | (1) キヤノン                  | 637 | 製造業 | 2  | 損害保険ジャパン     | 483   |     |
| 8  | (31) トヨタ自動車               | 636 | 製造業 | 3  | 三井住友海上火災保険   | 436   |     |
| 9  | (17) 三菱電機                 | 631 | 製造業 |    | 〈商社・その他〉     |       |     |
| 10 | (71) パナソニックモバイルコミュニケーションズ | 629 | 製造業 | 1  | 日立ハイテクノロジーズ  | 573   |     |
| 11 | (9) 富士通                   | 626 | 製造業 | 2  | キヤノン販売       | 557   |     |
| 11 | (12) デンソー                 | 626 | 製造業 | 3  | 東洋物産         | 498   |     |
| 11 | (一) NECパーソナルプロダクツ         | 626 | 製造業 |    | 〈運輸・倉庫・不動産〉  |       |     |
| 14 | (48) シャープ                 | 621 | 製造業 | 1  | 日立物流         | 565   |     |
| 15 | (10) オムロン                 | 618 | 製造業 | 2  | 日本郵船         | 548   |     |
| 16 | (29) TDK                  | 617 | 製造業 | 3  | 東日本旅客鉄道      | 484   |     |
| 17 | (25) NTN                  | 616 | 製造業 |    | 〈通信・サービス〉    |       |     |
| 18 | (27) NECインフロンティア          | 615 | 製造業 | 1  | NECフィールドディング | 592   |     |
| 19 | (35) 三洋電機                 | 614 | 製造業 | 2  | NTT東日本       | 473   |     |
| 20 | (37) 日立製作所                | 613 | 製造業 | 3  | NTTドコモ       | 453   |     |
| 20 | (14) パナソニックコミュニケーションズ     | 613 | 製造業 |    | 電力・ガス        |       |     |
| 22 | (15) コクヨ                  | 612 | 製造業 | 1  | (1) 九州電力     | 657   |     |
| 23 | (22) カシオ計算機               | 611 | 製造業 | 2  | (3) 東京ガス     | 607   |     |
| 23 | (66) セイコーエプソン             | 611 | 製造業 | 3  | (6) 中国電力     | 583   |     |
| 25 | (48) タイキン工業               | 610 | 製造業 |    | 非製造業         |       |     |
| 25 | (53) 東芝                   | 610 | 製造業 | 1  | (2) 日立プラント建設 | 662   |     |
| 27 | (4) ホンダ                   | 605 | 製造業 | 2  | (4) 大林組      | 584   |     |
| 28 | (27) 松下エコシステムズ            | 604 | 製造業 | 3  | (11) パナホーム   | 579   |     |
| 29 | (60) アサヒビール               | 603 | 製造業 |    |              |       |     |
| 29 | (6) ソニー                   | 603 | 製造業 |    |              |       |     |

(注) カッコ内は前回調査の順位

# 環境経営、利益に直結



調査は上場企業、非上場有力企業のうち、製造業千七百七十八社、非製造業千二百四十社を対象に九月上旬から十月末までに実施した。有効回答率は一〇六・六%。製造業が最も高かった。非製造業は最高700、それ以外は最高600。七つの評価項目(非製造業は六個)をもとに総合スコアを算出してランキングした。製造業が最も高かった。非製造業が最も低かった。

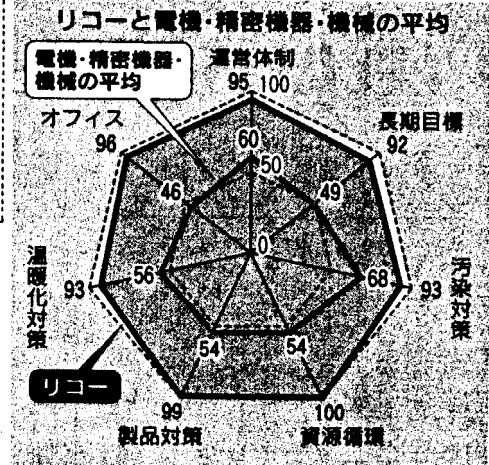
## 製造業 リコー 資源循環を推進 トヨタハイブリッド貢献

日本経済新聞社は五日、日経リサーチの協力を得て第八回「環境経営度調査」をまとめた。製造業ではリコーが第四回

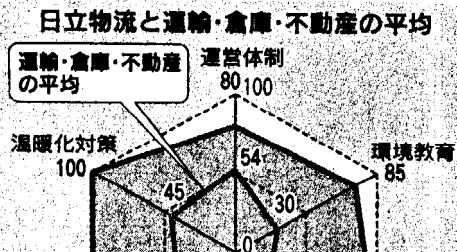
### 本社調査・ランキング

以来、四年ぶりで総合首位。分野別に昨年総合首位のNECフィールドディング一位になった。自動車やデジタル機器の生産活動と、環境負荷削減をこの環境経営の手腕が試されている。

再生複写機を生産する東北リコー(宮城県柴田町)



製造業の上位は電機関連が占めた。リコーはリサイクルや廃棄物対策など資源循環の項目で最高



非製造業は業種ごとに異なる設問が増えたため、日立物流は環境教育が85

## 非製造業 日立物 積載

# 世界環境センターの「2003年 WECゴールドメダル」受賞



## ■WECゴールドメダル…

WEC（世界環境センター World Environment Center）とは、1974年に国連環境計画（UNEP）の支援によって設立され、81年に独立した米国の有力な環境NPO。官民を問わずさまざまな組織と連携し、一貫して地球および人類の持続的発展の可能性を追求してきた。中でも、今年で19回目を迎えるWECゴールドメダルの授与は、欧米の環境専任者や企業経営者が注目する国際的なイベント。過去を受賞企業には、世界の優良企業が名を連ねる。リコーの受賞はアジア企業として初の快挙となる。

## ■主な受賞理由…

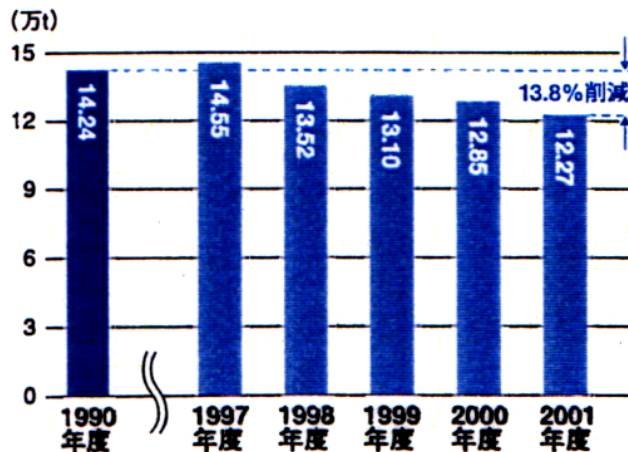
審査は「方針」「実施」「リーダーシップ」の3つの基準について審議された。注目すべきは今回の審査基準が「環境」というテーマだけでなく、「社会的側面」での評価が加わったことである。従来は環境保全分野の成果が評価の対象となっていたが、今年から環境側面にサステナビリティ、つまり持続可能性の発展・活動を実践しているという観点から、社会的・経済的責任分野での評価が加わった。その意味でいえば、リコーは新しい観点で受賞した第1回目の企業といえる。





# 事業所の省エネ事例

リコーのエネルギー消費量 (CO<sub>2</sub>換算\*1)



## 2001年度実績(1990年度比)

- ・CO<sub>2</sub>総排出量は13.8%削減
- ・売上高原単位は24%削減

## 2001年度 国内生産工場実績 (1990年度比)

- ・CO<sub>2</sub>総排出量は16.7%削減
- ・売上高原単位は34.4%削減

## 2010年度目標(1990年度比)

- ・CO<sub>2</sub>総排出量は13%削減
- ・売上高原単位は62%削減

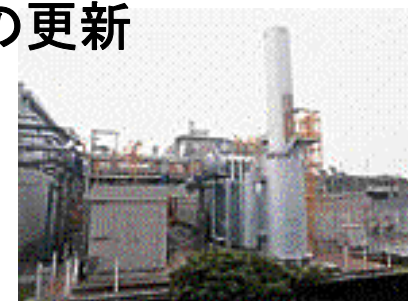


リコーユニテクノ  
台車引き生産ライン

1) 事業所のあらゆる場面での改善により、エネルギー消費を削減

2) コージェネレーションシステムの導入など生産設備の更新

沼津事業所は、都市ガスによる自家発電に変更。  
さらにタービンからの廃熱を有効利用することにより、  
年間約3,000トンのCO<sub>2</sub>排出量を削減。



リコー沼津事業所の  
コージェネレーションシステム

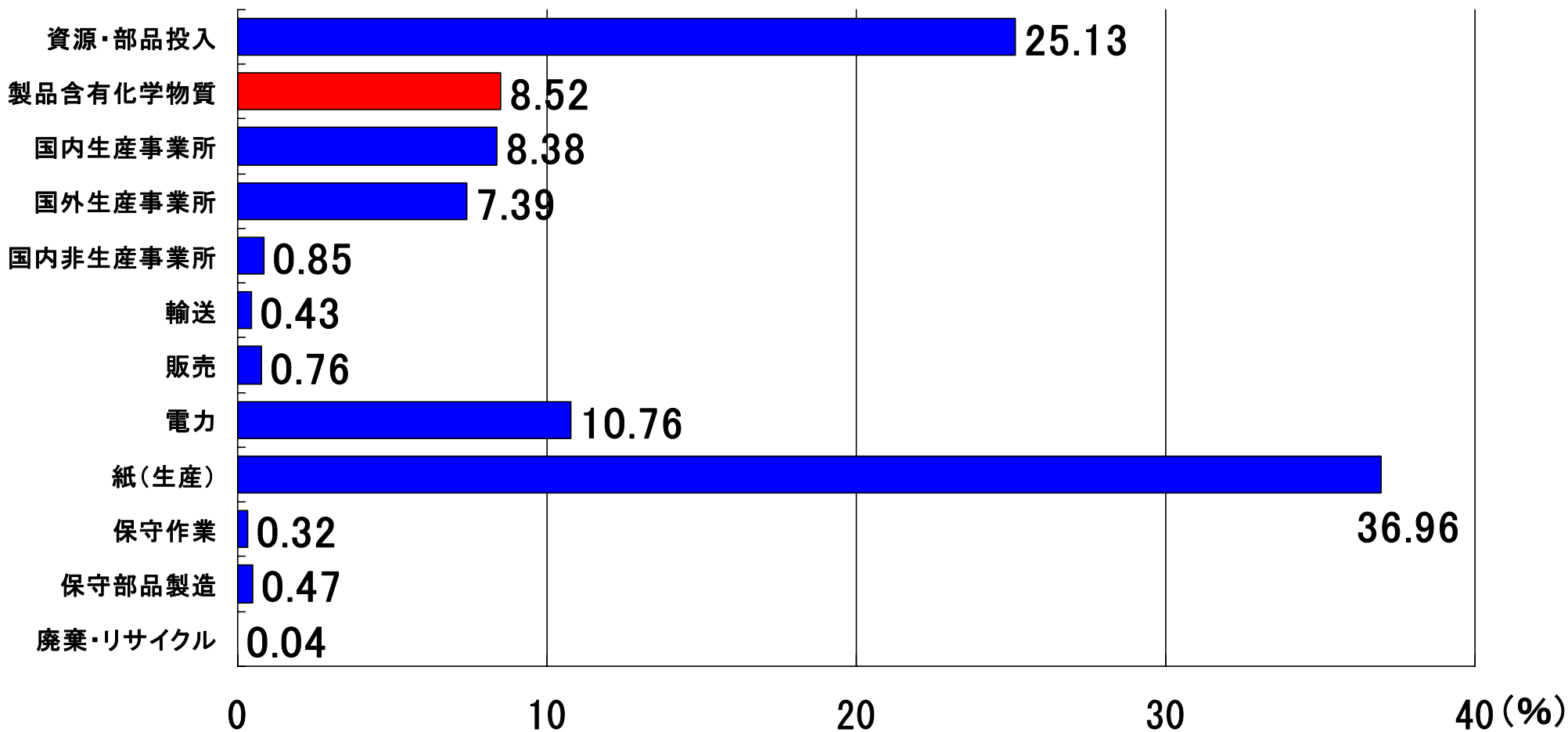


グリーン  
電力証書

3) 自然エネルギーの利用など



# リコーの事業活動が及ぼす 環境影響の把握



「環境影響を把握し、改善活動につなげる」

# 製品含有環境影響化学物質の削減



鉛、塩化ビニル、六価クロムを大幅に削減した製品を発表  
2004年に全廃製品を発売 (2001年)

## 環境影響化学物質の削減

環境影響化学物質「鉛、塩化ビニル、クロム<sup>\*</sup>」を大幅に削減しております。

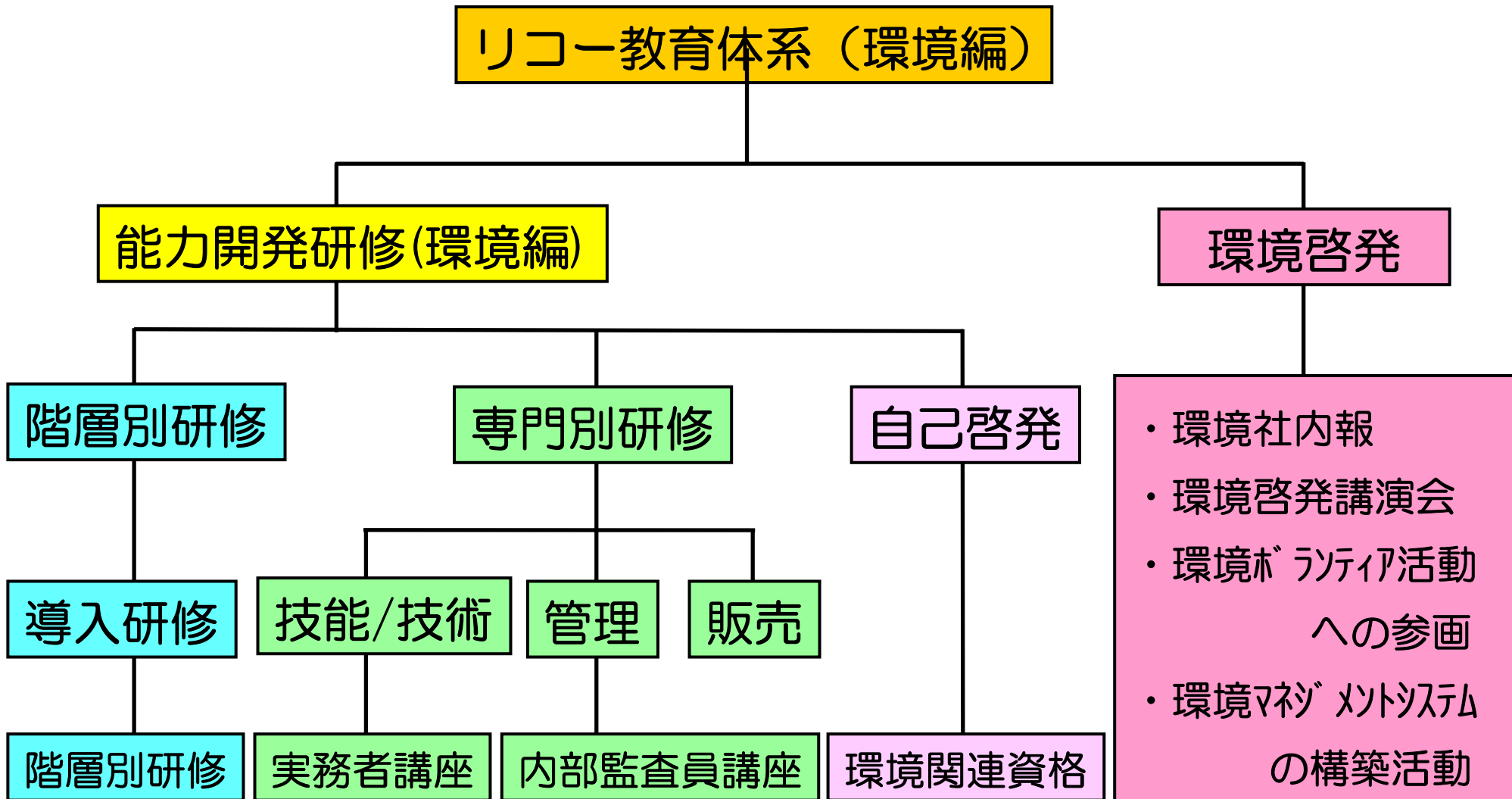
- imagio Neo 220/270で新規に開発したプリント基板は、実装のための鉛はんだを約90%という高水準で削減しています。製品全体では、GPNデータベースの「はんだの無鉛化」において、ランク[A]で登録しています。
- 「塩化ビニル被覆電線」を削減し、GPNデータベースの「配線被覆の塩ビ使用」においてランク[Ⅲ]で登録しています。
- 「クロム含有亜鉛メッキ銅板」の使用を従来機種に比較して90%以上削減しています。

※鉛、塩化ビニル、クロムともに、お客様の使用時は全く影響ありません。これらの物質は、資源として採掘される際と製品の廃棄段階において、適正な処理がなされないと環境影響を及ぼします。



imagio Neo 270

# 環境教育



# 環境ボランティアリーダー 養成プログラム



①

環境ボランティアリーダーの養成(業務)  
(1泊2日の集合研修(1回)):リーダー登録

環境教育



②

環境教育

全社会議(業務)(年3回)  
(情報交換及び環境教育)

③

環境ボランティアリーダーが中心の、自主的で、  
各地域に密着した、環境ボランティア活動。(随時)

フォロー

- \* リコー自然教室と全社会議から構成。
- \* 年間45名の環境ボランティアリーダーを養成。
- \* 各リーダーが中心となり、ボランティア活動を展開。

# 環境ボランティアリーダーの活動

## ・ 活動内容

### ① クリーンアップの例：

- \* 鎌倉材木座海岸でのサンドクラフトとビーチクリーンアップ
- \* 環七 \* 福井事業所周辺 \* 博多湾 \* 多摩川花火ゴミ袋配布
- \* 多摩川花火後クリーンアップ \* 奥多摩 \* 鳥取砂丘 など



### ② グループを作りフィールドをきめて定期的に森林保全活動する例：

- \* 「That's Kirin Saver」: 震生湖付近の雑木林の手入れ
- \* 「やどりぎ森睦会」: 神奈川県やどりぎ水源の森林保全

### ③ 子供の自然教育を主眼とした例：

- \* 福井事業所ビオトープ \* 御殿場事業所ビオトープ
- \* リコーユニテクノメダカの学校 \* 七沢森林公園雑木林手入れ
- \* 横浜自然観察の森野外解説版作り など

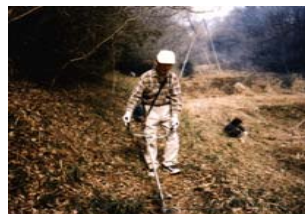


# 森林保全社会貢献プログラム



## ● NPOとのパートナーシップ

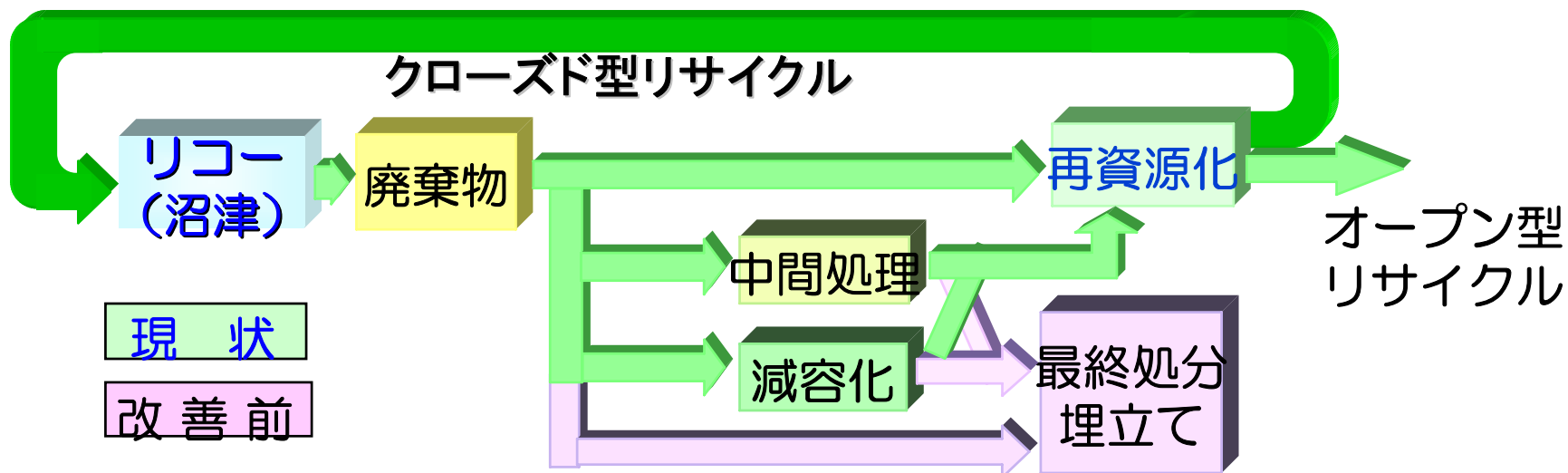
| 主催自然環境保全団体         | 国名       | 開始時期     | プロジェクト名            |
|--------------------|----------|----------|--------------------|
| アファンの森基金 (C.W.ニコル) | 日本       | 2002年3月  | 黒姫天然林復元            |
| 日本野鳥の会             | 日本       | 2000年4月  | 多摩さとやま保全           |
|                    | 日本       | 2002年1月  | やんばる天然林保全          |
| コンサベーションインターナショナル  | フィリピン    | 2000年3月  | シエラマドレ天然林保全        |
| WWF                | マレーシア    | 2000年10月 | キナバタンガン天然林(コルドー)復元 |
|                    | 中国       | 2002年1月  | 四川省天然林(コルドー)復元     |
| 主催自然環境保全団体         | 国名       | 実施時期     | プロジェクト名            |
| POUSH              | バングラデッシュ | 1999年10月 | バングラデッシュ全国さとやま復元   |
| スリランカ野外鳥学グループ      | スリランカ    | 2000年3月  | シンハラジャ天然林復元        |
| ラムサールセンター          | ブルネイ     | 2000年5月  | セロン島マングローブ原生林保全    |
| オイスカ               | マレーシア    | 2000年10月 | スック水源林復元           |
| コンサベーションインターナショナル  | ガーナ      | 2002年1月  | コルドー回復             |



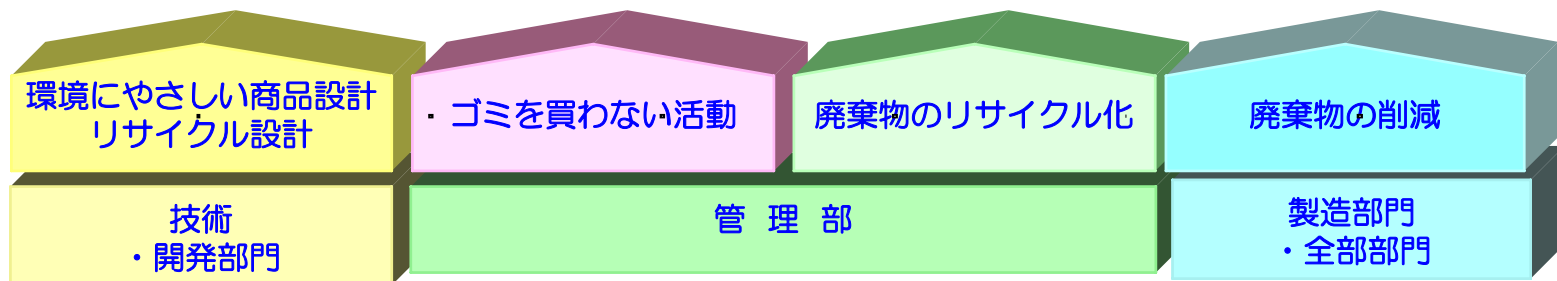
- ・ 生物多様性保全を目的とし、地元民の生活向上に配慮したリコーとNPOとの独自プログラム
- ・ 本プログラムを利用した社員参加と一般市民啓発



# 廃棄物処理の現状と目指す姿



事業所から排出される廃棄物が再資源化され、再びリコーがそれを使用する「循環型」クローズド リサイクル化を目指す

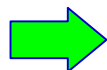


■ 4本柱を主体に活動を展開しております。

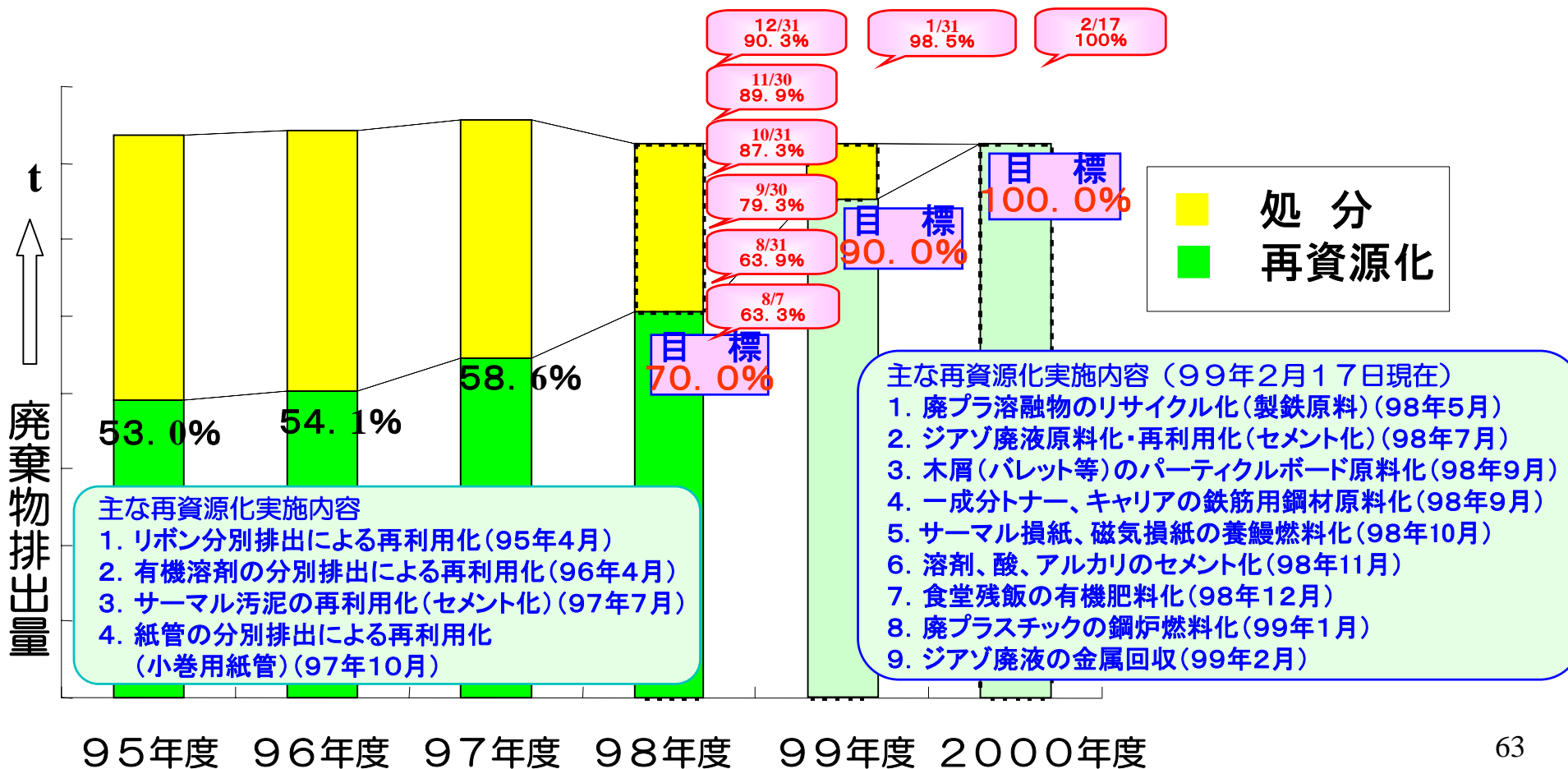


# 廃棄物量の推移

1998年4月 本格的な活動開始



1999年2月17日 100%達成





# 報告書・ホームページ



## 【社会環境報告書・特色】

- ・多様なステークホルダーへの総合的情報発信
- ・環境会計・社会的活動に関しても情報公開
- ・環境保全の努力をされている方々参考となる情報を発信

## 【ホームページ・特色】

- ・タイムリーな情報更新・子供向けの環境教育ツールがある

**RICOH**  
Image Communication

▼ Japanese | ▶ English

環境経営について

- ダイジェスト
- ビジョン
- 環境経営推進の仕組み
- 目標と結果
- 環境活動のご紹介
- 社会的活動のご紹介
- 最近の活動
- 環境会計・データ

リコーグループの **環境経営**

「環境対応」から「環境保全」、そして「環境経営」へ。  
私たちは、環境と経営を同軸のものとして捉え、経済効率の高い「環境経営」の実現に向けて、率先して活動を展開しています。

NEW  
環境経営報告書 2003

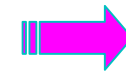
世界環境センター **WEC** ゴールドメダル受賞！  
リコーは世界環境センターの「2003年WECゴールドメダル」を受賞。

子ども向け  
**Ecotoday** テンペル・タートル ストーリー  
楽しく学ぶ子ども向け環境ストーリー。もちろん大人も楽しめます。

ビジネス向け  
競争力ある環境経営へ

最近の活動

- 2003/06/25 **NEW!**  
リコーグループ環境経営報告書2003を発行
- 2003/06/20 **NEW!**  
リコー、紙製品に関する環境規定を制定
- 2003/06/19 **NEW!**  
「第6回環境報告書賞」、東洋経済新報社本社で表彰式
- 2003/06/10  
リコーグループ 第3回環境月間記念講演会IIに、約250名集う
- 2003/06/08



00・01年度「環境goo」大賞  
第2・3回「エコWeb」大賞  
連続受賞など

**エコライフノート**

## 我が家の取り組み

日付順

会社別

カテゴリ別

作成者別

ご家庭で、特に取り組んだことがあったら、入力してください。入力いただいた内容は、みなさんにご覧いただき参考にさせていただきます。入力いただいた取り組みについて、質問やご意見を入力することができます。

戻る

| 日付           | タイトル                           |                       |
|--------------|--------------------------------|-----------------------|
| ★ 2003/05/22 | ホットカーペットを半月早めに外して、電気代削減(成田 輝夫) | 55.(株)リコー 支店 除く販売事業本部 |
| 2003/05/21   | 車をなるべく使わない生活(吉川 健介:05/21)      | 55.(株)リコー 支店 除く販売事業本部 |
| 2003/05/21   | トイレの排水量の削減(吉川 健介:05/21)        | 55.(株)リコー 支店 除く販売事業本部 |
| 2003/05/21   | TV待機電力カット(吉川 健介:05/21)         | 55.(株)リコー 支店 除く販売事業本部 |
| 2003/05/19   | 買い物に行くにはビニール袋等のバック袋は           |                       |
| 2003/05/14   | 【お金】で見る省エ                      |                       |
| 2003/05/13   | 買い物する前に考え                      |                       |
| 2003/05/13   | 卵の殻で・・・(細川 美)                  |                       |
| 2003/05/13   | トイレの排水量を減                      |                       |
| 2003/05/12   | お米のとぎ汁は排水                      |                       |
| 2003/05/12   | 寒くなったら多めに                      |                       |
| 2003/05/12   | 3. マイカー? は自                    |                       |
|              | 増進、経済的効果)                      |                       |
| 2003/05/12   | 2. 趣味の一つにガ                     |                       |
| 2003/05/12   | 1. EM菌を利用し                     |                       |
| ★ 2003/04/21 | ▼キッチンペーパー                      |                       |
| ★            | ▼台所の油物処理(亀山)                   |                       |
| ★            | 明解な回答をあり                       |                       |
| 2003/04/21   | 家庭内節電評語揭示                      |                       |
| 2003/04/19   | 太陽光発電装置を屋                      |                       |
| 2003/04/18   | 使用しない部屋の電                      |                       |
| 2003/04/18   | 主電源のこまめなオ                      |                       |
| 2003/04/18   | テレビなどの主電源                      |                       |
| 2003/04/18   | 室内の白熱灯の電球                      |                       |
| 2003/04/18   | 無駄な電気使用をな                      |                       |
| 2003/04/18   | マイカー普通車から                      |                       |
| 2003/04/17   | こまめに消すぞ・                       |                       |



節約が地球を守る?

「地球にやさしい暮らし」なんていうけれど、それはどんな暮らしでしょう? みんな環境破壊はよくないことだって知ってるけれど、普段の暮らしの中で具体的に何をすればいいのかな? 美樹ちゃんやおじいちゃんと一緒に考えてみましょう。

**美樹ちゃん**  
知りたがりの女の子。森山小学校の五年生で、好きな科目は理科と音楽。かけっこは苦手だけど、さかあがり得意。

**おじいちゃん**  
美樹ちゃんのおじいちゃん。七十二歳。毎年青梅マラソンを完走している元氣者。

**リーフちゃん**  
美樹ちゃんやおじいちゃんと同じ歳の緑の精。五千年以上生きていけるというだけあって、なかなかの物知り。

おじいちゃん、地球の「オランダカ」ってなに?

あー温暖化か。地球がだんだん暖かくなってしまふことじゃよ。

じゃあいいねえ。おじいちゃん寒がりですよ。

ところがそうもいかないのじゃ。気温が上がるといろいろよくないことがおきる。海面が上がって陸地が狭くなってしまふし、世界中の気候が変わって生物の暮らしにも悪い影響があるそうじゃ。伝染病が広がるという話も聞くよ。

それは怖いねー。でも、どうして温暖化が起こるの?

温暖化現象などのガスによる影響だというじゃが……? えーと、リーフちゃん。

はい。温暖化は二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)などの「温室効果ガス」が増えることによって起こるんだ。人間が石油や天然ガスなどの資源を使うことによって発生する二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)などが、温室のガラスのように太陽の熱を閉じこめて、地球全体が暖まってしまふんだよ。

防ぐ方法はないの?

みんなが資源を大切に使うことだね。美樹ちゃんちで電気やガスなどを節約することが温暖化の防止につながるんだ。どれだけ節約できたか確かめるために、一月ごとの電気やガスなどの使用量を記録しておくエコライフノートをつけてみたらどうか?

節約したら地球のためになるとおじいちゃん。電気代やガス代が減ったからおじいちゃんも喜ぶよ。

二酸化炭素は、エコライフノートに記録するんだよ。電気代やガス代が減ったからおじいちゃんも喜ぶよ。

二酸化炭素は、エコライフノートに記録するんだよ。電気代やガス代が減ったからおじいちゃんも喜ぶよ。

**エコライフノート**

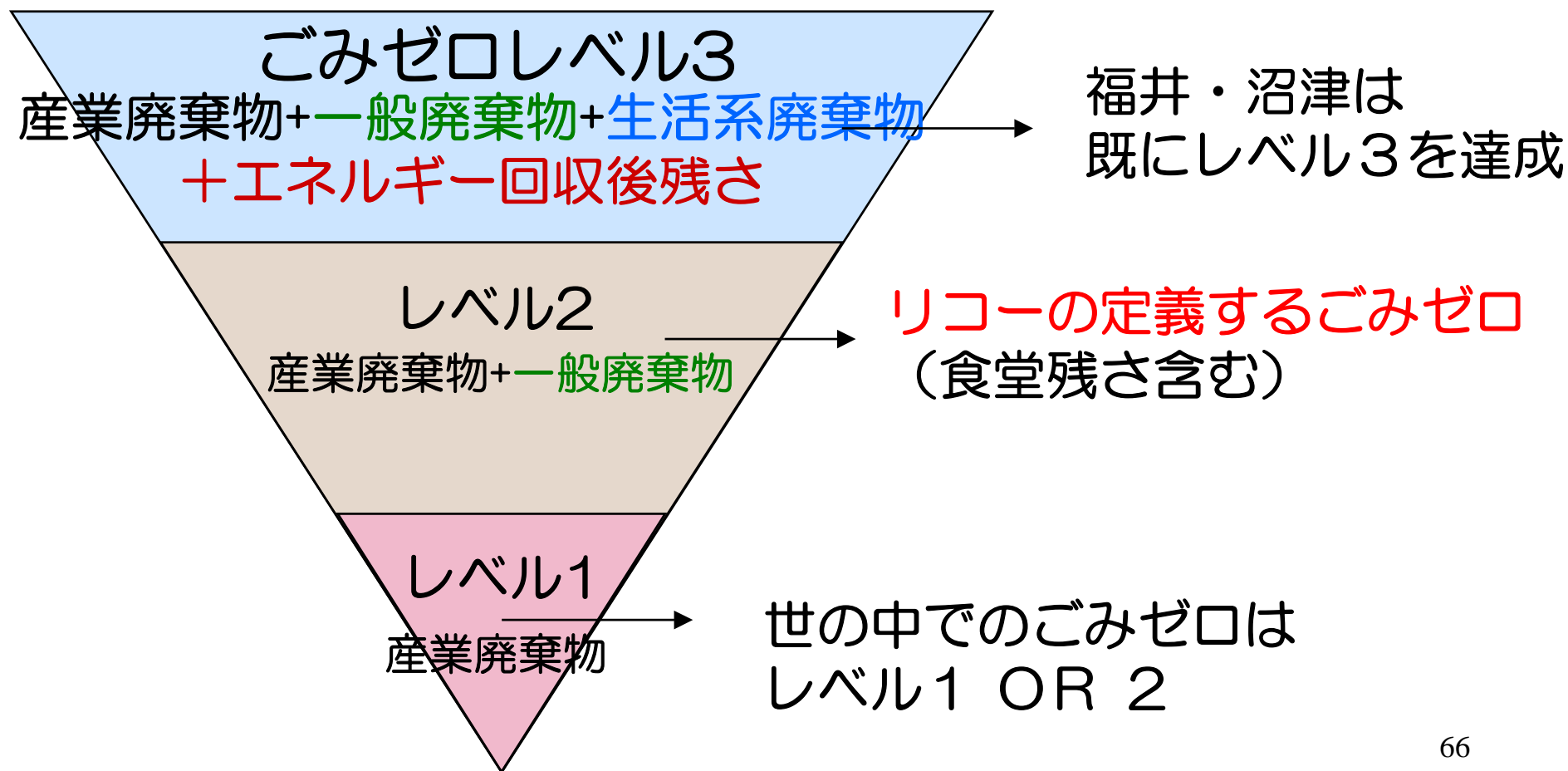
エコライフノート(エクセルファイル)は、DBからダウンロードすることができます。月々の電気、ガス、水道、ガソリンなどの使用量を入力することで、それぞれにかかった経費とともに、それによって排出されるCO<sub>2</sub>の量を知ることができます。

できることから始めてみよう!



# 事業所の廃棄物削減

- 2000年度末までに全生産事業所でごみゼロ達成。



# ごみゼロ活動のポイント



1. 道筋を探せ。 ・ ・ リサイクルルート
2. 入口を監視せよ。 ・ ・ 原材料購入段階、ごみを買わない工夫
3. 廃棄物のそれぞれの再生品を展示。 ・ ・ 分別意識・教育、  
目で見えて判る工夫
4. リサイクル品の種類を少なくせよ。 ・ ・ 分別作業の簡素化
5. 再資源化はコストダウン活動。 ・ ・ 購入原材料3302 点の包装  
材料のムダ排除、統廃合
6. 道筋完成後に分別の全面展開 ・ ・ モデル分別ステーションづくり  
分別推進委員会設置

# 一般従業員教育



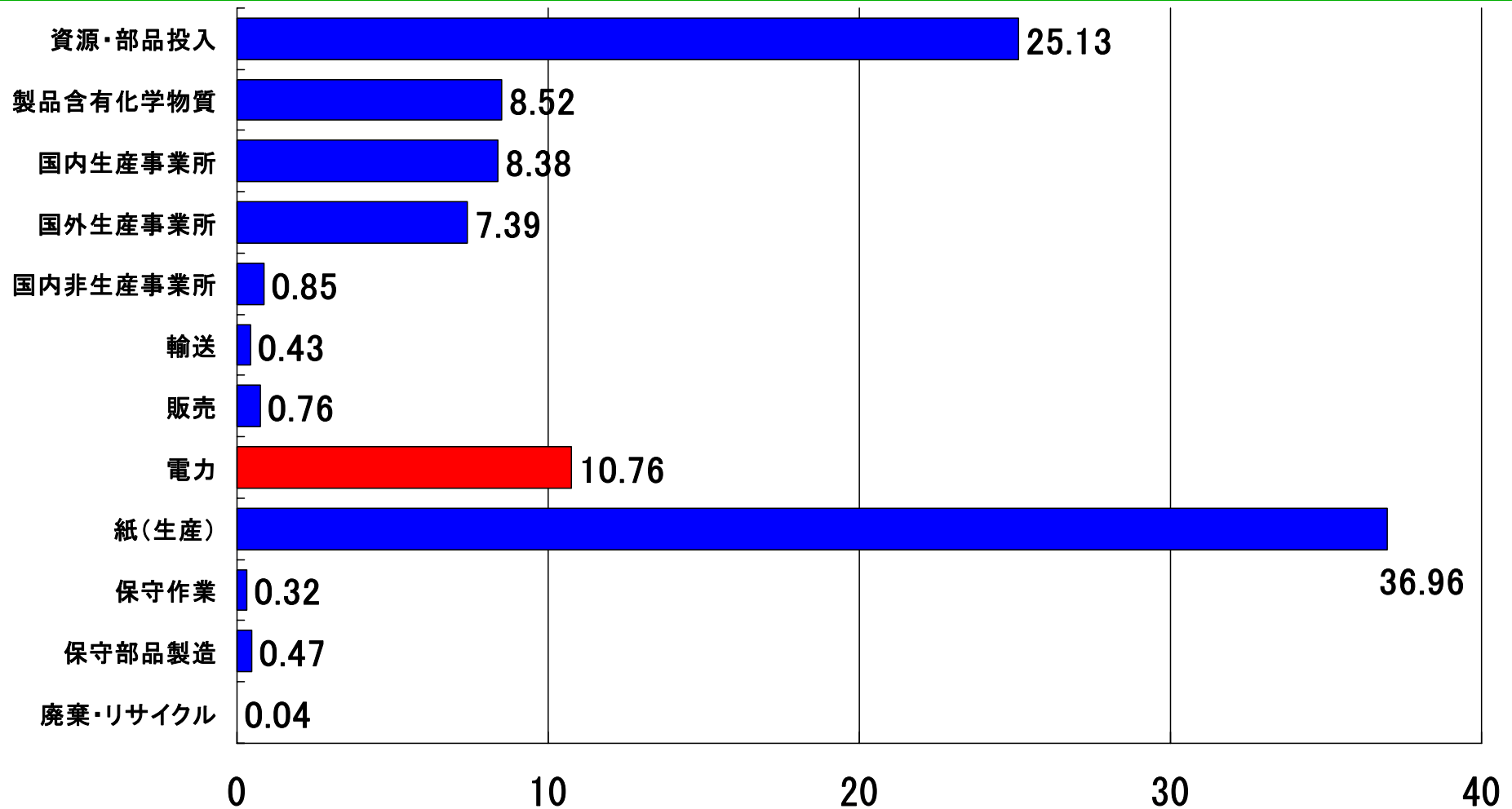
- 全従業員が携行
- 環境方針、環境問題の基礎知識、ISO14001規格の概要、販売グループと環境の関係などを解説
- 当該年度の各自の環境改善計画を記載
- 各自の職務に応じた環境の役割を記述



## CBT環境基礎教育

- コンピューターとの対話形式で自己学習
- 終了テストにより理解度を確認  
80点未満は、再学習
- 合格に達すると修了書が自動出力
- 各自の職務に応じた環境の役割を記述

# リコーの事業活動が及ぼす 環境影響の把握



「環境影響を把握し、改善活動につなげる」

# 製品の省エネ事例



平成12年度(第11回)

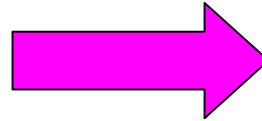
## 「21世紀型省エネルギー機器・システム表彰」

(省エネ大賞)

情報機器で初！ 「**省エネ大賞：経済産業大臣賞**」受賞

これまでの35枚／分クラスの複写機  
(国際エネルギースター基準準拠)

- ・ 待機時消費電力 130～150W
- ・ 待機モードからの復帰時間 60～85秒



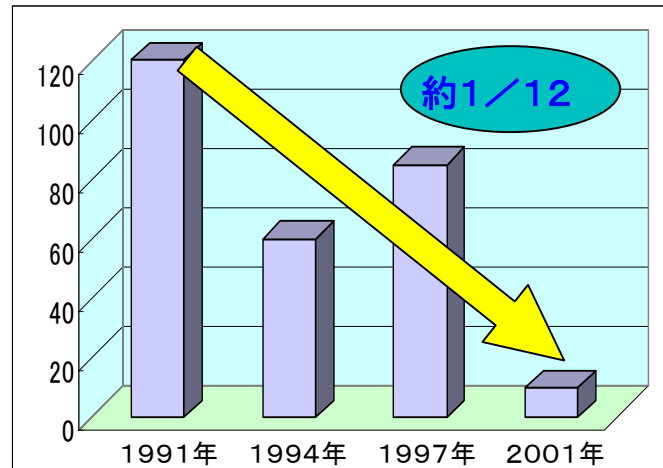
imaggio Neo350 (35枚／分)  
(新省エネ技術搭載)

- ・ 待機時消費電力 7W
- さらに
- ・ 待機モードからの復帰時間 10秒

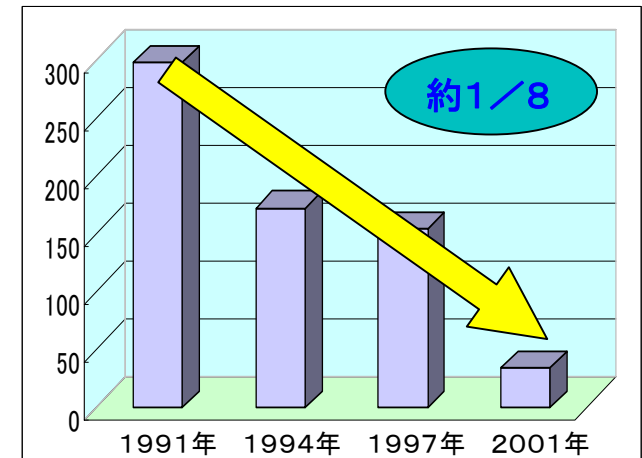
imaggio Neo  
350 SERIES



■省エネモード(オートオフ)からの復帰時間(秒)



■エネルギー消費効率(wh/h)



# 製品情報開示



- ・お客様はともに協力して環境負荷を削減するパートナー
- ・製品の環境性能をお伝えすることが、お客様の環境保全活動につながる

## 環境ラベル

**タイプ I (ISO14024)**  
 規定された対象製品の認証基準に合致した製品につけられる

**タイプ II (ISO14021)**  
 製品・サービスの環境改善を図って（一般にタイプ I よりはるかに高い）企業独自の基準で設定する

**タイプ III (ISO14025)**  
 製品の多様な環境負荷情報を定量的に表示する



エコマーク(日本)



リコーリサイクルラベル

| 環境負荷項目       | 単工程 | 数量          | リサイクル |            | 使用・保存 | 備考   |
|--------------|-----|-------------|-------|------------|-------|------|
|              |     |             | 輸入・経年 | 国内産(2024年) |       |      |
| 電力(MWh)      | -   | 291         | 0     | 0          | 3637  | 13.6 |
| 化石燃料(kg)     | -   | 18.4        | 0     | 0          | 2350  | -    |
| 水消費 (都市用単位)  | -   | 0           | 0     | 0          | 0     | 0    |
| 工業用単位        | -   | 10.7        | 0     | 0          | 0     | 0    |
| の体積 (地下排水)   | -   | 0           | 0     | 0          | 2256  | 0    |
| インフラ         | 0g  | 単体合計 185    | 0     | 0          | 0     | 0    |
|              |     | 紙 170       | 0     | 0          | 0     | 0    |
|              |     | 墨粉 2.09     | 0     | 0          | 0     | 0    |
|              |     | その他 1.11    | 0     | 0          | 0     | 0    |
|              |     | PC/MMS 15.6 | 0     | 0          | 0     | 0    |
|              |     | ABS 4.34    | 0     | 0          | 0     | 0    |
|              |     | PC 5.51     | 0     | 0          | 0     | 0    |
|              |     | PC/PP 2.00  | 0     | 0          | 0     | 0    |
|              |     | その他 1.70    | 0     | 0          | 0     | 0    |
|              |     | PP 2.120    | 0     | 0          | 0     | 0    |
| その他 1.70     | 0   | 0           | 0     | 0          |       |      |
| 樹脂類 15.8     | 0   | 0           | 0     | 0          | 0     |      |
| その他 14.8     | 0   | 0           | 0     | 0          | 0     |      |
| ポリエチレン 0.545 | 0   | 0           | 0     | 0          | 0     |      |
| その他 0.56     | 0   | 0           | 0     | 0          | 0     |      |

\*リコーでは全ての環境ラベルに対応

環境負荷情報開示(HP)